

The background of the cover is a photograph of a large, modern steel bridge extending from the top left towards the center. Below the bridge, the sea is turbulent with white-capped waves and a prominent whirlpool in the lower center. The sky is a clear, bright blue. The title '美術年報' is written in large, bold, golden-yellow characters with a slight shadow effect, positioned in the upper left quadrant. The year '2005' is written in a white, italicized serif font with a shadow effect, positioned in the upper right quadrant.

美術年報

2005

徳島県美術家協会

目 次

はじめに	徳島県美術家協会長 佐野 比呂志	1	
徳島県美術家協会規約		3	
平成15年度事業報告		4	
役員名簿(平成16年度)		7	
徳島県美術展開催運営要項		13	
第59回県展記録		17	
第59回県美術展出品・入選等状況		25	
徳島県美術展審査員一覧		26	
第13回放美展記録		30	
各部記録(平成16年度)			
・日本画部	部会長 西野 和男	36	
・洋画部	部会長 榊田 務	39	
・写真部	部会長 楠渕 魏	49	
・彫刻部	部会長 松永 勉	55	
・美術工芸部	部会長 山上 馨	58	
・書道部	部会長 上田 溪水	63	
・デザイン部	部会長 坂本三千一	68	
会員名簿			
・日本画部	74	・美術工芸部	83
・洋画部	75	・書道部	85
・写真部	79	・デザイン部	96
・彫刻部	83		
第59回徳島県美術展(県展)公募規定			97
第59回県美術展特別・招待・無鑑査・賛助出品者名			98

あとがき

はじめに

第13回放美展が春の公募展として、4月28日（水）から5月2日（日）までの5日間、県郷土文化会館で開催された。放美賞7点、優秀賞49点、入選553点の計609点と、審査員、運営委員、美協役員、無鑑査の作品等66点を加え、総数675点が展示された。応募点数も昨年よりはるかにふえ、1209点、県美術界にとっても大変よろこばしいことであり、将来更に飛躍を続けることが期待できる。

第59回県美術展は、第1期が11月6日（土）から14日（日）まで書道部門で、第2期が11月16日（火）から23日（火・祝）まで日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、デザインの6部門で、県郷土文化会館において開催された。作品の応募数は例年なみの2,411点、審査の結果で入賞・入選846点が選出された。展示数は特別出品、招待、無鑑査、賛助出品を含め966点となった。県展も59回を重ね、その内容も年々充実し、特に本年は若い層に負けず、ベテランが充分実力を見せていた。各部門の審査員からも、個性的で魅力的な作品が多く、全体的に高水準だった。その点選考は難しかったといわれ、作品は醸成、つまり醸し出すことが大切であると考えられた。作家の方も充分自信をもって、各部門とも審査員の言葉をよく理解し、個性的で創造性豊かな作品、今日を見すえた時代性のあるもの、時代を切り開くような作品をめざして精進されたい。なお、出品者の方々が多くの中央展以上に厳選である県展に臆することなく、挑戦しつづける情熱と真摯な努力には心から敬意と深い感謝を表したい。

各部門の活動や関係団体、協会員の活動も例年に勝り活発であった。昨年結成された「徳島アート21」、「徳島版画会」も順調な歩みを見せた。

個人の活躍で主だったものをあげることにする。反田卓日本画展が12月末から1月にかけて鳴門市賀川豊彦記念館で開催され郷愁漂う風景画が印象的であった。脇町の藤本晴子さんが日豪芸術祭で油彩画が大賞を受賞した。居上真人さん作品、阪神大震災復興の碑、鎮魂の思いをこめた彫刻が神戸市長田区に1月17日除幕された。5月に三谷ミヤ子個展が開催され、徳島市を描いた風景画を主に50余点を発表された。橘 恵さんが藍染めで風景を描いてきた8年の集大成の作品展を開催し、祖谷暮色など自然風景が奥深く描かれていた。6月には岡英彦さんの日本画20年間の集大成といえる個展が開催され、県展第40回記念大賞受賞作から日展、日春展、県展等26点、そのほか下絵や素描等38点の計64点の豪華な発表であった。荒井賢治写真展「太宰府一遠い都」が太宰府天満宮宝物展と併催で文学書道館で開催され、35点の力作が展示された。黒崎志郎水彩スケッチ展がギャラリー・グレイスで開催された。8月には大谷焼の「矢野款一おどり百態」がそごう美術画廊で開催され、踊り期間中でもあったので

県外客も楽しめたと思う。10月に入って彫刻家の河崎良行さんが、3年ぶりの個展を鳴門ガレの森美術館で開催し、アルミ等の金属素材を使い直線と曲線を組み合わせた抽象彫刻、鳴門海峡をイメージした連作等新作7点を含む12点が出品された。作者は伝統的造形との共通性を意識するようになったとも話していた。第21回島ウタコ七宝個展がそごう美術画廊で開催され51点が出品された。佐藤晴子日本画展が150号の大作を含め、花、鳥、動物、風景等幅広いテーマで近代美術館で開催された。11月には、長野満子小品展が、思い出の景のタイトルで開催された。平木美鶴展が吉野川市川島図書館で、図書館美術シリーズ第15回展として、絵画・木版画が展示された。書家の春藤大耿さんが喜寿記念して、生きるをテーマにして制作した100余点を展示、なお展示室の壁と床一杯の「天上大風」は縦20メートル、横4メートルの超大作で注目された。荒井賢治と歩む写真の世界、80人の写真展は阿波銀プラザで開催され、写真芸術のこれからの在り方も考えさせられるよい展覧会であった。なお、特筆しておきますが、荒井賢治さんがこの度二科会写真部会員に推挙されました。その榮譽を心から讃えたいと思います。

昨年に続いて、今年も追悼のことばを記すことになった。県美術家協会理事で県展招待作家でもあった岡本征二さんが、7月21日、62才の若さで亡くなられた。二紀展にも出品、晩年は子供を風景にとりいれた心象作品を描き続け、絵本作家としても県下で活躍し、徳島新聞カルチャーセンター講師として指導にあたっていた。人間的にも温厚誠実、特に県美術家協会洋画部の事務会計一切を引き受け、県展への情熱は並ではなかった。惜しまれてならない。さらに、県展に賛助出品をさせていただいていた浅田二郎さんが、平成17年2月15日87才で亡くなられ、洋画部会員展実行委員で昭和20年から30年頃に美協理事、美協洋画部委員であった武市善次郎さんが平成17年2月25日81才で亡くなられた。心からご冥福をお祈り申し上げたい。

最後になりましたが、四国放送（放美展）、徳島新聞社（県美術展）並びに美術家協会の皆様方に心から感謝するとともに、ますますご発展をお祈りしてはじめての言葉といたします。

平成 17 年 3 月

徳島県美術家協会会長

佐 野 比呂志

徳島県美術家協会規約

昭和23.	9.	12	規約制定	
32.	7.	14	新規約制定	
33.	4.	29	規約一部改正	
42.	4.	23	〃	
46.	4.	29	〃	
47.	5.	29	〃	
49.	8.	22	〃	
52.	7.	23	〃	
56.	5.	5	〃	
58.	6.	5	〃	
61.	6.	21	〃	
平成4.	6.	27	〃	
	6.	25	〃	
	10.	6.	27	〃

第1章 総 則

第1条 本会は徳島県美術家協会と称し、事務所を徳島市内におく。

第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。

第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。

- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻
- ⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン

第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。

- (イ)展覧会 (ロ)講習会 (ハ)講演会
- (ニ)観光美術の振興 (ホ)その他必要な事業

第2章 役員および会員

第5条 本会に次の役員をおく。

- 会 長 副会長（2名）
- 理 事（若干名） 監 事（2名）

会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員は任期は2年として留任をさまたげない。

第6条 本会は顧問、参与および名誉会員を理事会の推せんによりおくことができる。

第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。監事はこの会の経理を監査する。

第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員を選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。

総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあっては3名、

31名以上の部にあっては、さらに10名毎に1名選出できる。

第9条 理事会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。

第3章 部 会

第10条 各部に次の役員をおく。

- 部部长・委員（部会員数の3割以内）
- 部監事（2名）

役員は部総会で選出する。役員は任期は2年とし留任をさまたげない。

第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員を選出その他重要事項の審議を行う。

ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。

第12条 委員会は必要に応じ部部长が招集し部会務を執行する。

第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。

第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

第15章 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。

第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。

第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(参 考)

☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内置く。

☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館（徳島公園内の県立図書館）内へ移す。

☆昭和25年12月18日 協会パッチを選定（圖案は鬼塚副会長）

☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部部长及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事（3名～5名）によることとする。

☆昭和46年4月29日 6部（日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道）のうえに商業美術（58年度からデザインに改称）が加わり7部組織となる。

平成15年度 事業報告

- (1) 総 会 ◇平成15年 6 月14日
◇県郷土文化会館 5 F 第7会議室
◇平成14年度事業報告及び決算報告
◇監査報告・承認
◇役員改選
◇平成15年度事業計画及び予算審議
◇その他
- (2) 理 事 会 ◇平成15年12月20日 放美展、県展等について
- (3) 第12回放美展 ◇平成15年 5 月 1 日 (木) ～ 5 月 5 日 (月・祝)
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道・デザインの
620点展示
◇受賞者表彰式 平成15年 5 月 5 日 (月・祝) 県郷土文化会館
- (4) 第58回県美術展
◇第 1 期 平成15年11月 8 日 (土) ～16日 (日)
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザインの536点
展示
◇第 2 期 平成15年11月18日 (火) ～25日 (火)
書道の388点展示
◇第58回展受賞者表彰式 平成15年11月 7 日(金)ホテルクレメント徳島
- (5) 県展・放美展会議
◇第58回県展運営委員会・県展事務局員会議
(15. 6. 17、15. 9. 17、16. 2. 25、16. 3. 24)
◇第12回放美展運営委員会 (15. 4. 25)
◇第13回放美展運営委員会 (15. 12. 15)
- (6) 各部会行事 ◇洋 画 部
第18回洋画部会員展 (15. 5. 22～5. 25) 県郷土文化会館
第 5 回絵画講習会 (15. 9. 7) 鴨島町文化研修センター
◇写 真 部
花紀行大和撮影会・石仏とあじさい矢田寺撮影会 (15. 6. 22)

◇デザイン部

部会展「ECO」(15. 11. 1～9)

ホテルクレメント徳島

- (7) 各種後援
- ◎第7回 澄光会書道展 (15. 5. 9～11)
 - ◎第18回 正鋒会書展 (15. 5. 10～12)
 - ◎第17回 四国大学文学部書道文化学科教員展 (15. 5. 16～18)
 - ◎第15回記念‘療’4人展 (15. 5. 22～26)
 - ◎県立文学書道館開館記念 璞社選抜書展 (15. 5. 23～6. 1)
 - ◎森住博写真展 (15. 5. 23～25)
 - (15. 6. 10～15)
 - ◎徳島アート21 第1回展 (15. 6. 5～8)
 - ◎第4回 ニッコールクラブ徳島支部写真展 (15. 6. 7～9)
 - ◎第26回 八紅展 (15. 6. 11～13)
 - ◎第26回「炎」作品展 (15. 6. 14～16)
 - ◎第21回 双愛会書作展 (15. 6. 19～22)
 - ◎第24回 東光会徳島支部展 (15. 6. 20～22)
 - ◎第10回記念 大歌会書作展 (15. 6. 27～29)
 - ◎第22回 徳島平和美術展 (15. 7. 4～6)
 - ◎岡村清写真展 (15. 7. 5～7)
 - ◎第7回忌記念 福島正仁遺作写真展 (15. 7. 17～21)
 - ◎第16回 長玄書道会展 (15. 7. 19～21)
 - ◎第7回 墨友会書展 (15. 8. 1～3)
 - ◎第62回 世代美術展 (15. 8. 7～10)
 - ◎第27回 15人展 (15. 8. 19～21)
 - ◎第33回 直心会書道展 (15. 9. 1～3)
 - ◎創立55周年 第66回 書芸院展 (15. 9. 4～7)
 - ◎第48回 書協人展 (15. 9. 5～7)
 - ◎第26回 泉心会書作展(併催：藤若美風書作展) (15. 9. 12～15)
 - ◎第35回 石井美術の会作品展 (15. 9. 12～15)
 - ◎第32回 徳島雪心会書作展 (15. 9. 13～15)
 - ◎第59回 青美展 (15. 9. 20～23)
 - ◎第16回 アトリエM作品展 (15. 9. 20～23)

- ◎第43回 写楽会写真展 (15. 9. 26～28)
- ◎第9回 徳島障害者芸術祭 エナジー2003 (15. 10. 7～12)
- ◎関政明油絵展 (15. 10. 7～13)
- ◎第15回記念 陸月会書展 (15. 10. 18～20)
- ◎第7回 旺美展：旺玄会東四国支部展 (15. 10. 22～28)
- ◎第18回 藍美展 (15. 10. 31～11. 3)
- ◎現代中国書画巨匠二人展 (併催：王亜雄「篆刻」製硯展) (15. 11. 1～9)
- ◎第30回記念 双暢会書展 (15. 11. 1～9)
- ◎第14回 辰砂の会展 (15. 11. 1～3)
- ◎第1回 徳島版画展 (15. 11. 7～10)
- ◎鋭光会写真展 (15. 11. 7～10)
- ◎第4回 書朋六人展 (15. 11. 14～16)
- ◎鎌田邦宏彫刻展 (15. 11. 21～24)
- ◎第32回 歳末チャリティ作品・色紙即売展 (15. 12. 13～15)
- ◎第9回 六書展 (16. 1. 5～8)
- ◎第37回 モダンアート徳島支部展 (16. 1. 8～13)
- ◎芳藍書道展 (16. 1. 23～25)
- ◎第9回 退教協 悠美展 (16. 1. 26～28)
- ◎第38回 書道研究 清潮書作展 (16. 2. 6～8)
- ◎第35回 ナルトぴんぼけクラブ写真展 (16. 2. 13～15)
- ◎第7回 美術文化協会徳島グループ展 (16. 2. 20～24)
- ◎第24回 書研社展 (16. 2. 21～23)
- ◎四国大学文学部書道コース第29期生卒業制作展 (16. 2. 27～29)
- ◎第5回 鴨島町・市場町・阿波町三町絵画交流展 (16. 2. 27～3. 14)
- ◎第30回 桂鳴書展 (16. 3. 5～7)
- ◎宇山泰鳳書作展 (16. 3. 12～14)
- ◎吉田敏明古希個展 (16. 3. 19～21)

徳島県美術展開催運営要項

第1条 (名称・開催目的)

本展は徳島県美術展「以下(県展)という」と称し、広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条 (主催団体)

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条 (開催運営の組織)

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」とを設置する。

運営委員、事務局員の任期は2年とする。但し再任は妨げない。

〔県展運営委員会〕

運営委員会のメンバーは、県美術家協会の会長・副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から3名の合計21名でこれを構成する。

運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

- 1 開催運営の基本事項について審議決定すること。
- 2 審査員候補を推薦決定に関すること。
- 3 審査方法、表彰に関すること。
- 4 収支予算、決算の承認に関すること。
- 5 その他県展開催に必要なこと。

〔県展事務局〕

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会各部から2名、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社2名の計17名でこれを構成する。

事務局員の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

- 1 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
- 2 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
- 3 審査員の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等の準備、手配に関すること。
- 4 収支予算案の作成に関すること。
- 5 開会式、表彰式の準備に関すること。

- 6 広報PRに関すること。
- 7 その他県展開催の下準備に関すること。

第4条 (出品部門)

県展の出品部門は日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条 (展示作品)

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

- 1 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。

その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

- 2 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。
- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。
- (3) 年間を問わず特選又は準特選を6回得たもの。(特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする)
- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、名誉会員、参与、審査員及び各部の会長、顧問、参与。

(注) ① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

③ 40回展までの準特選は2回をもって特選と同値とする。

第6条 (審査員)

審査員は県外審査員とする。

審査員の選任は県美術家協会の各部会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い県展運営委員会の議を経て決定する。

第7条 (審査)

審査は公開により行う。

第8条 (入選、入賞数)

- 1 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

部 門 \ 区 分	特 選	特別賞 (59回展の場合)	準特選	奨励賞	入 選
日 本 画	2	徳 島 市 長 賞	3	3 以 内	規 定 数
洋 画	3	徳 島 新 聞 社 長 賞	5	5 ♪	♪
写 真	4	四 国 放 送 社 長 賞	8	8 ♪	♪
彫 刻	1	徳 島 県 美 術 家 協 会 長 賞	2	2 ♪	♪
美 術 工 芸	2	徳 島 県 知 事 賞	3	3 ♪	♪
書 道	8	徳 島 県 議 会 議 長 賞	13	13 ♪	♪
デ ザ イン	2	徳 島 県 教 育 長 賞	3	3 ♪	♪

※特別賞は各部とも特選の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。
賞はいずれも同格で毎年部門により1つずつ順位を変更し賞を贈ります。

2 入賞は1人1賞とする。

第9条 (表 彰)

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

- 1 特 選……賞状、賞金7万円
- 2 準特選……賞状、賞金3万円
- 3 奨励賞……賞状、記念品
- 4 入 選……全員に賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

- 1 徳島県知事賞 1名
- 2 徳島県議会議長賞 1名
- 3 徳島県教育長賞 1名
- 4 徳島市長賞 1名
- 5 徳島新聞社長賞 1名
- 6 四国放送社長賞 1名
- 7 徳島県美術家協会会長賞 1名

※特別賞の選考方法については別にこれを定める。

第10条 (収支予算)

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

- 1 出品料
- 2 入場料
- 3 図録売り上げ及び広告料
- 4 各種補助金
- 5 その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い必ず証票をとり、毎年12月末に決算を行い、2月に開催する運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第11条 (出品料・協賛費)

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

- 1 県美術家協会員の出品料は1点目3,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 2 一般の方の出品料は、1点目4,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 3 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は、1点3,000円とする。

第12条 (入場料)

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | | | | |
|---|-------|-----|------|----|------|
| 1 | 一般大学生 | 前売り | 500円 | 当日 | 600円 |
| 2 | 高校生 | 前売り | 250円 | 当日 | 300円 |

第13条 (附 則)

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は県展運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

- | | |
|------------|------|
| 平成4年2月22日 | 一部改正 |
| 平成4年5月16日 | 一部改正 |
| 平成8年5月25日 | 一部改正 |
| 平成11年5月14日 | 一部改正 |
| 平成12年5月30日 | 一部改正 |
| 平成13年5月30日 | 一部改正 |
| 平成14年9月25日 | 一部改正 |

第59回県展記録

会期 (第1期) 平成16年11月6日(土)~14日(日)
(第2期) 平成16年11月16日(火)~23日(火・祝)

会場 県郷土文化会館

日本画

- [審査員] 竹内 浩一
[特別出品] 長尾 弘子
[招待] 橋本 正弘 中川 健 岡 英彦 土方るみ子 西野 和男
土井 洋子
[賛助出品] 長谷 壽
[無鑑査] 柳田 一子
[特選] 坂 容子 (徳島市長賞)
國尾由美子
[準特選] 三ッ本繁美 岩脇 恵子 西村美也子
[奨励賞] 三谷 浩三 福田佳代子 平野ひろみ
[入選] 米沢 稔 川原 光恵 山本 泰子 有持 廣子 渡部 純子
南 清子 島山 耀子 川崎 克寛 森下 美恵 吉田 満子(2)
細木 玲子 反田 卓 村本 美歌 井藤 茂雄 中村 繁子
石動 智子 岡 正明 江本美千代 梶浦 千瑞 宮越 千佳
斎藤 久男 清水佳代子 天羽 弘毅 中西 芳雄 水本 皖次
丸岡 明子 石原 千鶴 森崎 雅子 井村ひろみ 藤井 吉信
西岡 ちほ 伊藤 雅子 西内 生子

洋画

- [審査員] 中山 忠彦
[特別出品] 佐野比呂志 永山 隆二 榊田 務
[招待] 清水 亟悞 楠瀬 等 露口 敏幸 長尾 弘久
[賛助出品] 岡 多美子 柏木 雅雄 河田 安市 黒崎 志郎 後藤田仁一
松川 寛 岡田 守 中辻奈美枝
[無鑑査] 新居 千尋
[特選] 青木 幸子 (徳島新聞社長賞)
島村 英之 伊藤 紀子
[準特選] 割石 雄三 福良 哲子 佐藤 友美 漆川 美希 山瀬 稔
[奨励賞] 大西 道夫 林 未央 吉田 真人 須見 澄子 瀧川 勝雄

- 〔入 選〕 真鍋 和子 鈴木 敬子 田中シゲミ 岡田 和泰 島上 二郎
 喜多 直彦 伊丹レイ子 野上 恵子 南城ミツ子 松尾 実
 三谷多美子 西川 周三 近藤 克子 藤井 文明 麻植 尊正
 西條 明彦 秦 克之 姫田 正義 篠原 昭子 奈須 善彦
 森 幸子 谷口 園 玉田 秀子 三谷ミヤ子 東原 綺子
 中村 恵一 増井 厚子 横手 義人 宗本 菊代 藤井 香世
 西 富美 川添瑠美子 平田スミコ 堀内 理香 田渕 浜子
 佐々木輝実 端野 育代 藤丸 家栄 林 康太郎 曾我部秀子
 犬伏美智子 村上 富子 伊勢 浩章 丸岡 朋子 増田 政春
 藤崎 恭子 島田美奈子 西川 敬子 佐々木 超 越久 高照
 田中 康子 藤埜 理 岩田 美幸 濱田登貴子 関 政明
 中川 清隆 浅井 香織 小笠原秋子 水口 舞 大崎 聡美
 野口 暁子 尾西 敬子 馬渕 尚子 河村 君子 原田 早
 住友富美子 坂田 千恵 住友 政雄 西條 敏夫 岩朝 美絵
 原 麻子 岸本 花子 米沢 博 阿部 昌子 武田 洋子
 宮田 京子 川上 晴美 大西 文代 知野 貴世
- 〔遺 作〕 岡本 征二

写 真

- 〔審査員〕 大石 芳野
- 〔招待〕 増田 清次 井上 光雄 木田 英之 西條 征二 勝西 雅夫
 藤井 梵 武内 亨 笹田 敏雄 櫛渕 魏 酒井 博司
 三好 和義 上野 照文 森 賢一 橋本 圭祐 安長 剛
 前浦 芳久 荒井 賢治 林 敏彦 多田 晴美 古井 謙吉
 中野 建吉 井藤 光章 増田 壽 柳本 正
- 〔無鑑査〕 大和 健司 久保 英樹
- 〔特 選〕 佐野 和史 (四国放送社長賞)
- 西野 倫子 森住 博 播 博文
- 〔準特選〕 富加見美枝 原田 宏 船越 正文 後藤 正巳 野藤みきよ
 石川 徹雄 正見 晃章 堀口 幸男
- 〔奨励賞〕 竹治 慶子 矢部 弘子 河野 光雄 木下 昇 岡村 清
 上杉 大一 大森 孝克 岩崎 英昭
- 〔入 選〕 中尾 一元 河田 清 佐治 孝 中川 定典 久我 千鶴
 林 好一 山下 助信 岡久 吉徳 宮崎 敏晴 佐藤 考利
 三木 理司 大津 勝治 吉岡 伸夫 井上 翔 安部 幸子

三木 恭子	城田 清志	多田 康文	原田 武二	中垣 節
根ヶ山美江	根ヶ山 治	川村 泰史	椎野 泰治	鴻野 孝
戸出 匡	松尾 良子	高野 作男	佐倉 幹雄	新居 修
伊達 照子	志摩 育美	加藤 千明	竹内 佑一	久積 豊
坂野 正明	吉田 仁志	新開 修	安井 光博	松田みゆき
中本 和男	宮前 稔	吉村 敏嗣	久保 幸満	大西 敬三
宮本 利光	四宮 正恵	板東 泰雄	赤木 昭子	板東 律雄
梅本 貞範	前坂 祥文	宮本 幸治	平野 史子	国見 良幸
横手 章子	山口 喜市	橋本 和夫	井上 秀人	浅川 理
姫田 慎治	米塚 稔	四宮 清文	松原 玲子	中川 健次
森内 昭男	増谷 好子	竹谷 政登	田中 義孝	吉本 亮子
矢野 志江	村岡 洋一	笠井 房子	安友 啓二	大栗 隆夫
吉本 保夫	中村 茂人	原井 裕夫	多川 静守	大久保智仁
岸上 俊博	岸田 知久	公門 久明	岸田 義市	石田 政良
臣守 澄江	岩田 健一	喜多 昌弘	成松 善任	櫛谷 文次
横田 正敏	渡邊 信二	高橋 弘	橋本 勝	土橋 成行
坂東 進	向 儀一郎	塩本 勝義	南山 葉子	神野 太三
小林 芳子	下山 久男	辻 絹子	多田 進	林 広司
山本 雅敏	山中 利治	濱 茂	島 廣幸	野口 道子
森崎 敦子	棚橋 仁志	木村 高治	松家 安信	岡田 佳子
柳谷 雅夫	中野 久世	小原 治	岸本 美紀	氏師 敏晴
小川 勝	浜田茄代子	日出 顕作	山口 正明	佐藤 晃一
日下 芳治	安丸 弘二	一宮 喜八	一宮 康八	酒井 富子
山田 勝二	近藤 恵子	大西 啓子	野口 佳一	森住 啓
板東 敏晴	森住 孝義	田村 泰弘	井上 憲治	

彫 刻

〔審査員〕 米林 雄一

〔特別出品〕 河崎 良行

〔招待〕 佐藤 隆 大津 文昭 濱口 恵 井下 俊作 鎌田 邦宏

松永 勉

〔賛助出品〕 長岡 強

〔特選〕 東 光司 (県美術家協会会長賞)

〔準特選〕 上月 佳代 高丸 公相

〔奨励賞〕 松井 結布 加藤美津子

〔入 選〕 武田亜希子 川下 知子 山本 高輔 井上 喜美 山本 秀子
 師橋 美樹 森 克江 笠井 正彦 納富 哲朗 安藝 淳二

美術工芸

〔審査員〕 竹内 順一
 〔特別出品〕 山上 馨
 〔招待〕 新居 猛 高橋 勇 七条猪三郎 多智花佐代子 松下 雄介
 松下 慶一 森 賢一 橋 恵
 〔賛助出品〕 村上 正典 中川 存
 〔特 選〕 丸居 哲雄 (県知事賞)
 齋藤 和彦
 〔準特選〕 岡部 育子 龍木 秀子 吉田 敏明
 〔奨励賞〕 富田ちえ子 美浪 文 吉田 祐子
 〔入 選〕 相原 良平 大貝 寿子 南 郁代 南 泰樹 藤井 雅代
 大貝 貞雄 近藤 静恵 高瀬 真記 みついみつ 越 由子
 加藤 和美 鷗山 早苗 玉木 隆子 佐治 孝 石本 達
 笹部 充恵 四十宮年代 家形笑美子 山下壽美代 垣内耕太郎
 富永 裕子 前野 亮治 藤川 恭子 桶木 清子 平尾 静子
 吉田 晃子 横井嘉世恵 宮本 薫 井上 明子 前田 道子
 一宮多枝子 吉田 陽子 宮本 孝 平田志保子 清水由利子
 板東 幸博 阿部 徳子 加藤 伴江 増田 勇 隅田 良佑
 村上 綾子 落久保重利 下内 良一 美浪 文 藤井 哲信
 阿部真由美 大川 健次 梶原 浩二(2) 近藤 川津 楠 博子
 吉田 真弓 綾野 昌子 中西 達也 藤中 教代 清田美和子
 山下 久美 吉本 千峰 安富 順子 中村ようこ 塩出 敬子
 吉岡 啓子 川真田泰裕(2) 岡崎 益子 田村 祐子 竹内寿和子
 渡辺美恵子 仁田 和子 田村栄一郎(2) 小栗加代子 四宮 千代
 中川 英子 石田 政良 天野 和子 杉本 真弓 高田 光
 谷崎美沙江 青木 房江 鳥井 明子 西田 善彦 谷内 年子
 近藤 照子 戸田 智 中山 公司 板東 啓子(2) 桜井 慎治
 田村 純子 野村 裕子 椎野 寿子 松永 卓司 国井 秋子
 北野 亘章(2) 江角 久子 菊 徳子 岡田 邦子 澤田 公博
 松島のり子 石川多美子 村川 栄一 山本 啓子 永山昭一郎
 大久保友子 前川 郁代 濱川美笑子 菅 キヌヨ 梅山喜代美
 青木 壽美 寒川 治雄 山田真由美 太田 裕子 山本 由美

書 道

〔審査員〕	岩井 韻亭	光宗 道子	大井 錦亭						
〔特別出品〕	荒井 天鶴	新居 藍州	上田 溪水						
〔招待〕	宮井 青雨	長原 皋聖	高原 清泉	西 南龍	成尾 莊秀				
	原田 霄月	芝原 醒鶴	前川 古舟	清水 桂月	美馬幾美賀				
	春藤 大耿	中谷 史子	長谷 美峰	勝瀬 景流	川上 虹泉				
	三間 好鶯	近藤 静苑	日下 溪翠	岡島 順子	荒井 彭仙				
	竹田 和代	山口 華城	藤若 美風	武市 鳴雲	中尾 勝子				
	佐藤 真	富久 鳴泉	永松 春苑	島田 小園	坂本 霄風				
	浜 佳香	隅田 英二	松本 清香	多田 清芳	玉城 乾香				
	薄田 玲泉	能仁 華瑤	高岡 晃祥	高田 青蓮	三浦富美代				
	宇山 泰鳳								
〔無鑑査〕	東 弥生								
〔贊助出品〕	東 南光								
〔特選〕	佐原 武子	(県議会議長賞)							
	青木 博美	川村 真澄	辻 尚子	亀石 二三	大原 千佳				
	山橋不二子	木内 典代							
〔準特選〕	宇山 和治	豊原 淳子	勝浦 美和	谷本 洋子	林 みゆき				
	射場 博子	福島 由子	向井 京子	藤田 健二	阿部 博子				
	平岡 郁子	桑村 清	中川 博雅						
〔奨励賞〕	吉平 順子	藤村 恭子	矢部 知子	忠津 安子	古川 恵巳				
	貝塚 鎮雄	背川 章子	宮守 とみ	湊 泰子	原田 葉子				
	春川 登	岡崎 啓子	中川 富量						
〔入選〕									
漢字の部									
	笠松八重子	川人 明香	中谷 明美	宮脇 郷子	吉成啓一郎				
	秦 知美	大平美代子	春藤 秀子	橋本 京子	鈴木エリ子				
	片山 芳明	山下弥栄子	山城テル子	弘田 敏章	馬居美智恵				
	中西 淑子	米本由美子	豊浦 佳子	飯田 公子	北村 浩子				
	宇山 峯子	平野 実	佐藤 博子	石井 瞳	新見 明子				
	永岡ツタエ	佐々 京子	大塚 洋子	河見 忠信	後藤 紀代				
	安友 彰子	井内 裕子	猪尾あかね	阿部 千明	谷 弘美				

近藤 美香	鳩成 広美	藤山真由里	米澤 司子	沖田 章代
熊代 厚子	美馬 潤子	小倉 孝子	藤川 幸栄	川上 益世
真鍋 洋子	浅川 陽子	谷本真由美	野口 有香	西村 美保
吉田 幸代	萩原 陽子	徳山 舞子	鈴木 智子	山村 定子
中川 恵	園尾 淑子	丸岡 茂夫	西野 道夫	稲田 紀子
稲田 恵子	谷口 統雄	松永 浩子	陶久 房枝	久積富美子
奥田 文子	大野シゲ子(2)	桑田 次雄	黒田 美穂	笠原 笑子
杉本 妙子	折野 茂幸	三崎美佐代	中川恵美子	村部 幸子
大下 富江	原 貞子	四宮 恭子	稲井 知子	野村千恵子
福家 佳余	中川貴美子	中村 美子	丸岡 由美	土井 和也
有井 清	富山 雅美	山城美三子	市原 典子	後藤 佳美
佐々木久子	片山 保	木内理映子	扶川 治子	戸出 浩子
矢野 康子	三好 啓子	西岡 淳子	久保 朝子	加藤 智子
以西 寛敬	高柳 由美	大塚 唯士	八木 澄江	大本由紀子
河野多美子	春川 登	佐野 陽子	荒川 哲信	中川 博雅
鳥尾 明良				

篆刻の部

岡部 武見	山川弥栄子	田湖 勲	田中 昭二	横田津喜子
大住 好雄	横田 雅夫	高柳 由美	鶴見 純郎	岡田 弘子
内田美代子	西村 和恵	住友 通瑛	那須 正夫	三澤多美子
真鍋 一美	岸本 友紀	小倉 明子	川又 望未	三笠 未賀
中井千香子	波多野雅子	黒田 紋加	中島 有里	安藤 希望
中川亜有美				

仮名の部

福井 恵子	上田 久恵	東 久子	関 藤子	大西 啓子
吉田 幸子	高橋加奈子	柏原 善子	根津不美子	船野 純子
松本由希子	竹内 英子	皆谷 露子	加藤 昭子	河野紀代子
近藤真千子	井内 光子	井上 まり	山本 美幸	森 裕美子
椎野 国子	川口 珠枝	森 弥生	岡島 公子	佐川 公子
倉本 節子	赤川久美子	水口 久枝	新納 房子	武田 詩夜
繁崎登美子	福良美代子	佐藤 恵美	大西 順子	大島 弘子
遠藤 由子	野上 美紀	竹中 敏恵	渡辺 正史	野口 和子
井上 彰夫	柰木真佐子	増田 愛子	湊 紀子	鈴江美音子
笹田 真里	藤原 育代	佐野チヨミ	河野 静江	坂野 雅子

久住 律子	佐藤 千紘	大滝富美枝	川崎 景子(2)	永岡ツタエ
森崎佐和子	坂本 敬子	須見智香子	伊藤 秀子	中筋 良江
関根 史子	山本 愛美	西岡 咲子	阿部 延子	斎藤 弥生
吉岡 栄子	西宇 明美	詫間 勝子	三宅 優子	田村富士子
向井 絵美	福本早矢賀	由利 里子	山腰 知子	廣島 章子
久積希実子	小笠 有加	加村喜美子	森西美也子	加藤 光子
伊丹 志織	藤井 昭子	高木美賀子	藤本満里子	吉田あゆみ
藤井三樹子	畠山 政子	山崎 秀美	崎野亜希子	井口 ひろ
吉田 好孝	中野 幸代	大平 英子	内田 麻紀	新子 町子
田ノ岡大雄	脇坂 優	井上小百合	吉田 亜矢	荒岡 直子
山本 恵子	松浦真知子	加藤カツ子		

近代詩文の部

橋本 君代	濱口 敏子	引地 美貴	藤本 優子	丸岡 良子
丸田 三恵	森浦 和子	山崎ひとみ	吉田さい子	若林 節子
渡邊 亜希	和田 悦代	和田富美子	青木寿恵子	朝三 和子
糸田川純子	犬伏 靖江	岩本 雅三	遠藤玻都恵	遠藤 禎子
大井多鶴子	大石 正	大西 英子	大島 清子	大西千鶴子
小野 幸久	河野 富子	川端喜美子	幸田 康代	児玉 幸子
榊原早知子	佐藤 恵子	里村 典子	坂本 貴子	高瀬 善郎
武市三奈子	谷口 陽子	谷本 清子	玉城 若菜	出原とし子
富永美知子	鳥井佐知子	長原 七与	仁木しもえ	野口 晴世
野田 満代	野田 洋子	松岡 文子	早川美智子	清水 美穂
石井 益美	居和城幸代	岩崎 麻美	檜山 正代	栗林 和江
児島 照代	定本 宏美	信夫 陽子	庄野ゆかり	竹田 秀穂
大津 明美				

前衛の部

枅富 年子	阿部 公恵	伊藤 真美	山本 恵美	中野 朋子
佐々木知砂	小川 景子	筒井 美帆	三木佳代子	大黒未来美
新川 典子	浜浦 有起	谷口 友麻	笹木 明華	吉田 衣里
朝香 友貴	梶川 佳奈	松本真理子	林 浩一	伊丹 明美
永井 厚子	荒井 和子	村田 泰輝	中川 博雅	義富 博正
佐藤由紀代	中峰 満世	関口 佳子	鳥尾 明良	

デザイン

- 〔審査員〕 小島 良平
〔特別出品〕 坂本三千一
〔招待〕 斎藤 繁次 坂野美恵子
〔賛助出品〕 福井 章
〔特選〕 敷島のり子 (県教育長賞)
西條 明彦
〔準特選〕 斎藤志津子 田中 妙 小笠原瑞穂
〔奨励賞〕 中川 理恵 芦尾 節子 吉岡のぞみ
〔入選〕 北島 豊嗣 寺本 礼子 桐山 由実 四十宮隆志(2) 坂東 志保
佐々木佳久 南 美千子 阿望江美子 安福 一記 有持 綾子
蔵澄 咲帆 坂本 幸 四宮のどか 今田 知江 米澤 麻美
服部 浩子 友兼裕美子 横田 実希 敷島のり子 川崎 克寛(2)
生田 典子 斎藤志津子 前野智恵子 西山 稔江 山下 香奈
藤田 直篤 高山 美穂 寺野 友子 福谷 美恵 天羽 恵子
稲垣 友香 米本 友里 池田枝里子 継岡 夢月(2) 岸本 真依
山住 幸子

第59回県美術展出品・入選等状況

部門 区分		日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
出品数		69	281	826	25	209	876	125	2,411
人数		64	197	277	25	149	531	105	1,348
入選	率	60.9%	32.7%	19.2%	60.0%	59.8%	41.8%	37.6%	35.1%
	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	5	8	2	3	13	3	37
	奨励賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入選	34	79	139	10	117	332	39	750
	計	42	92	159	15	125	366	47	846
落選	率	39.1%	67.3%	80.8%	40.0%	40.2%	58.2%	62.4%	64.9%
	落選	27	189	667	10	84	510	78	1,565
招待等	特別出品	1	3		1	1	3	1	10
	招待	6	4	24	6	8	41	2	91
	無鑑査	1	1	2			1		5
	賛助出品	1	8		1	2	1	1	14
	計	9	16	26	8	11	46	4	120
展示数		54	108	185	23	136	412	51	966

◎特別賞は特選の内数である。

徳 島 県 美 術

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	彫 塑
1	委 員	[野 間 仁 根 家 永 麒 三郎]	委 員	
2	大 栗 旌 斤	野 間 仁 根	上 田 備 山	[太 田 三 郎 坂 東 文 夫]
3	委 員	伊 原 宇三郎	同 上	[太 田 三 郎 坂 鹿 東 内 文 芳 洲]
4	委 員	須 田 国太郎	同 上	同 上
5	上 村 松 篁	田 村 孝之介	小 野 由 行	[太 田 三 郎 坂 東 文 夫]
6	西 山 英 雄	伊 藤 継 郎	川 崎 亀太郎	同 上
7	山 口 華 楊	田 川 勤 次	棚 橋 紫 水	新 田 藤太郎
8	池 田 遙 村	須 田 剋 太	同 上	[太 田 三 郎 坂 東 文 夫]
9	水 田 竹 圃	小 出 卓 二	同 上	同 上
10	管 楯 彦	[鈴 木 信 太郎 野 間 仁 根]	同 上	同 上
11	奥 村 厚 一	井 上 長三郎	岩 宮 武 二	同 上
12	浜 田 観	福 沢 一 郎	棚 橋 紫 水	同 上
13	小 松 均	藤 井 令太郎	同 上	[辻 東 晋 堂 坂 東 文 夫]
14	秋 野 不 矩	針 生 一 郎	岩 宮 武 二	針 生 一 郎
15	奥 村 厚 一	向 井 潤 吉	棚 橋 紫 水	管 沼 五 郎
16	同 上	吉 原 治 良	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
17	松 尾 冬 青	中 谷 泰	同 上	向 井 良 吉
18	矢 野 鉄 山	池 島 勘治郎	同 上	安 田 周 三郎
19	中 村 貞 以	森 芳 雄	堀 内 初太郎	堀 内 正 和
20	曲 子 光 雄	桂 ユキ子	岩 宮 武 二	植 木 茂
21	沢 野 文 臣	伊 谷 賢 蔵	同 上	佐 藤 忠 良
22	堂 本 阿岐羅	村 井 正 誠	同 上	辻 晋 堂
23	松 岡 政 信	山 下 大五郎	岩 宮 武 二	井 上 武 吉
24	山 崎 忠 明	大 沢 昌 助	棚 橋 紫 水	菊 池 一 雄

展 審 査 員 一 覧

美 術 工 芸	書 道	デ ザ イ ン
鬼 塚 信 之	委 員	
同 上	田 中 白 村	
同 上	炭 山 南 木	
同 上	炭山南木・織田子青	
同 上	手 島 右 卿	
[鬼塚信之 新田藤太郎]	同 上	
鬼 塚 信 之	小 坂 奇 石	
明 石 朴 景	辻 本 史 邑	
会 田 裕 宣	織田子青(漢)・出口草露(仮)	
鴨 政 雄	松 井 恕 流	
近 藤 悠 三	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
平 松 宏 春	同 上	
同 上	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠	
大 西 忠 夫	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
明 石 朴 景	同 上	
平 松 宏 明	同 上	
大 西 忠 夫	同 上	
鴨 政 雄	同 上	
平 松 宏 春	同 上	
内 田 邦 夫	同 上	
山 脇 洋 二	同 上	
槻 尾 宗 一	同 上	
山 脇 洋 二	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰	

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46回まで彫塑)
25	奥村厚一	斉藤真成	棚橋紫水	原武典
26	梶喜一	島村三七雄	同 上	掛井五郎
27	上原卓	高田誠夫	伊藤藤知己	松村外次郎
28	黒光茂樹	中 間 冊 夫	伊 岩 宮 武 二	小 島 広 志
29	松岡政信	島 田 田 章 三	同 上	保 田 春 彦
30	黒光茂樹	田 中 岑 雄	同 上	篠 崎 明 雄
31	河合健二	田 中 忠 雄	同 上	江 口 週
32	長谷川青澄	山 口 長 男	〔岩伊〕 宮藤武知 二己	一 色 邦 彦
33	松岡政信	吉 井 忠 忠	〔岩秋〕 宮山武庄太郎	柳 原 義 達
34	山岸純	小西保文	岩 宮 武 二	清 水 九 兵衛
35	樋笠数慶	小荻保太郎	同 上	桜 井 祐 一
36	坂口麻沙子	吉 井 淳 二	同 上	土 谷 武 道
37	下田義寛	野見山 暁	同 上	山 本 正 道
38	同 上	須 田 寿 一	高 田 誠 三	清 水 九 兵衛
39	同 上	齊 藤 真 一	同 上	城 田 孝 一 郎
40	下保昭	津 高 和 一	〔岩高〕 宮田武誠 一三	清 水 良 治
41	橋田二朗	小松崎 邦 雄	奈良原宮武 高二	淀 井 敏 一 夫
42	松本哲男	国 領 山 經 郎	岩 三 高 三 淳	木 橋 本 崎 武 猛
43	山岸純夫人	利根山 宏 寛	三 高 三 淳	山 崎 谷 田 敏 弘
44	平福井爽重	赤 桜 大 森 朔 重	三 高 三 淳	土 峯 谷 田 敏 弘
45	福岩穂	大谷大森	三 立 杵 杵 島	小 建 綿 古 恩 石
46	田淵俊融	大馬三 中	立 杵 杵 島	建 綿 古 恩 石
47	中田藤早	馬 三 中 松	杵 島 原 藤 江	綿 古 恩 石
48	下田藤早	三 中 松	杵 島 原 藤 江	古 恩 石
49	工那波多目功	中 松 藤 奥	齊 細 高 高 大	石 香 小 日 石
50	那須勝一	藤 奥 佐 々	細 高 高 大	香 小 日 石
51	那須勝一	藤 奥 佐 々	細 高 高 大	香 小 日 石
52	内田敏隆	奥 佐 々 木 津	高 高 大 細	小 日 石 原 菅
53	内尾敏隆	奥 佐 々 木 津	高 高 大 細	日 石 原 菅
54	松山岩大	佐 々 木 津 本	高 高 大 細	石 原 菅
55	山崎本	佐 々 木 津 本	高 高 大 細	原 菅
56	岩大竹	山 福 中	高 高 大 細	菅 米
57	大竹	山 福 中	高 高 大 細	菅 米
58	大竹	山 福 中	高 高 大 細	菅 米
59	大竹	山 福 中	高 高 大 細	菅 米

美術工芸	書道	デザイン (37回まで商業美術)
藤本能道	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴・田中栢翠 富永眉峰	
三井安蘇夫	同上	金野弘
六角穎雄	同上	大智浩
鈴木貫爾	同上	早川良雄
田村耕一	同上	原弘
山脇洋二	同上	田中一光
浅野陽	同上	奥野英雄
前田泰次	同上	灘本唯人
山脇洋二	同上	大高猛
中村光哉	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰・新居藍州	福田繁雄
山脇洋二	同上	永井正一
田村耕一	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 西岡楚峰	山城隆一
同上	同上	粟津潔
山下恒雄	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	田中一光
同上	同上	長友啓典
浅野陽	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿 高原清泉・田中栢翠・長江清幽 新居藍州・西岡楚峰	亀倉雄策
中村光哉	明石春浦・坪井正庵	伊藤憲治
浅野陽	桜井琴風・黒野清宇	サイトウ・マコト
山下恒雄	大岡皓崖・山田伍雲・西野象山	佐藤晃一
三浦小平二	花田峰堂・小山素洞・東地滄厓	河北秀也
松永勲	浅見綿龍・森本妙子・加藤大碩	松永真己
山下恒雄	近藤撰南・東山一郎・中野北溟	浅葉克己
島田文雄	谷村憲齋・植村和堂・太田義久	勝井三雄
大西長利	安原皐雲・池田桂鳳・金子卓義	五十嵐威暢
山下恒雄	鈴木桐華・西本支星・金子聰松	青葉益輝
島田文雄	尾崎邑鵬・井茂圭洞・大井錦亭	松永真丸
中井貞次	栗原蘆水・榎倉香邨・種谷扇舟	安西水丸
栗木達介	甫田鷄川・小山やす子・石飛博光	U. G. サト一
宮田亮平	杭迫柏樹・藤木正次・吉田成堂	早川良雄
松永勲	津金孝邦・池田桂鳳・松永暘石	戸田正寿
竹内順一	田中節山・村上俄山・黒田玄夏	杉浦康平
栗木達介	宮崎葵充・赤江華城・金子卓義	秋山孝享
中井貞次	星弘道・宮重小蘭・西野象山	遠藤誠平
島田文雄	吉川蕉仙・清水透石・作田英嗣	中村誠平
竹内順一	岩井韻亭・光宗道子・大井錦亭	小島良平

第13回 放美展記録

会 期 平成16年 4月28日(水)～5月2日(日)
会 場 県郷土文化会館

日 本 画

〔審査員〕	橋本 正弘	西野 和男	土方るみ子			
〔運営委員〕	長谷 壽					
〔美協副会長〕	長尾 弘子					
〔美協理事〕	中川 健	岡 英彦				
〔無鑑査〕	柳田 一子	黒田 實				
〔放美賞〕	村本 美歌					
〔優秀賞〕	米沢 稔	天羽 弘毅				
〔入 選〕	橋本 隆雄	眞淵佐紀子	小林 美幸	西村美也子	五宝喜美子	
	市川 義幸	中村 繁子	岸本 好美	嘉見 貞子	南 清子	
	西岡 ちほ	斎藤 久男	川原 光恵	有井 和子	江上 豊	
	榎本 初子	板東智恵子	瀧川フサエ	平野ひろみ	木内 和美	
	高部 恒香	丸岡 明子	岩脇 恵子	鈴木 恵子	矢野早那枝	
	川口 祐未	渡部 純子	露元 美葉	綿谷富美子	服部 昭雄	

洋 画

〔審査員〕	長尾 弘久	黒崎 志郎	岡 多美子			
〔運営委員〕	榊田 務	玉田 秀子	岡田 守			
〔美協会長〕	佐野比呂志					
〔美協理事〕	松川 寛	岡本 征二				
〔美協顧問〕	永山 隆二					
〔無鑑査〕	河本多恵子	三谷ミヤ子	佐々木 超	福良 哲子	木下 和江	
	青木 幸子					
〔放美賞〕	岸本 花子					
〔優秀賞〕	田中 康子	野上 恵子	田中シゲミ	大西 文代	横手 義人	
	瀧川 勝雄	林 静代				
〔入 選〕	川原 禮子	佐々木公子	坂東 富恵	阿部 昌子	浅井 香織	
	小倉えい子	白草 由子	答島 和年	佐々木 恵	東原 綺子	
	尾田 稔子	高木 康至	富岡 晴恵	小笠原秋子	住友 政雄	
	丸関 朋子	中川 清隆	南 清子	梅津美砂代	貝瀬 洋次	
	大崎 聡美	浅山 久子	堀江 幸子	井沢 忠昭	谷口 節	
	佐藤 友美	市原智美子	尾西 敬子	松浦 英子	松尾 実	
	米沢 博	村上 富子	中山 清一	原 たず	結城 栄子	
	井関久美子	西川 照美	若山 一恵	松原 恵子	曾我部秀子	

北 美智子	鈴木 敬子	前野 亮治	小川 雅代	美浪 恵利
片山美代子	岡田 典子	大久保由子	市原 幸子	中本真由美
日岡 富子	奈須 善彦	杉村 良典	梅村 更紗	佐々木輝実
新居 千尋	田野 安子	伊原 妙子	川添瑠美子	村上 富子
助岡 美穂	知野 貴世	篠原 稔	島田美奈子	枇杷谷美咲
和田 寿子	山口 明美	野口 暁子	広島 秀子	原 麻子
伊丹レイ子	南後 智江	西條 真季	宮森 千鶴	山橋大二郎
古川 久子				

写 真

〔審査員〕	井上 光雄	安長 剛	酒井 博司		
〔運営委員〕	櫛淵 魏	荒井 賢治	武内 亨		
〔美協顧問〕	西條 征二				
〔無鑑査〕	赤木 昭子	堀口 幸男	小林 保子	佐々木敏幸	
〔放美賞〕	山本 雅敏				
〔優秀賞〕	川真田慶治	栗田ふさえ	佐藤 晃一	森 光	新開 修
	久保 英樹	南山 葉子	大西 啓子	松家 安信	野口 道子
	多田 進	米塚 稔	石川 徹雄	橋本 勝	木村美紗子
	向 儀一郎	梅本 貞範	大和 健司	佐野 和史	伊達 照子
〔入 選〕	神野 太三(2)	吉本 武彦	志摩 育美(2)	森 英弘	土橋 成行
	林 邦光	山口 嘉市	中野 久世(2)	山口 正明(2)	喜多 昌弘
	漆原はつ子	柳本 清一	川真田慶治	栗田ふさえ(2)	佐藤 晃一(2)
	久我 千鶴(3)	一宮 由子	吉崎 伝	佐藤 義雄(2)	武林 恭史
	森住 孝義(2)	森 光	佐治 孝	後藤 正巳	根ヶ山 治(2)
	根ヶ山美江	谷 賢太郎(2)	冨樫 晃	久保 英樹(2)	棚橋 仁志(2)
	中川 健次(2)	稲井 芳男	谷中美智子(2)	佐藤 考利	佐藤 健
	松尾 寛一(2)	松尾 良子(2)	松田 昇	中野 昭子	中本 和男
	遠藤 藤恵	梶村 鉄次	佐野 辰夫	内田 澄子(2)	内田 忠秋(3)
	山田 卓(2)	安友 啓二(2)	清水 宗保(2)	酒井 富子	岸田 知久(2)
	奥野 持重	吉村 敏嗣	岡村 清	野藤みきよ(2)	田中 伸廣(2)
	田中喜久夫(2)	埴淵 照二	後藤田和子	田中 義孝	林 晴之(2)
	四宮 正恵	上杉 大一(3)	勝浦 彪	板東 敏晴(2)	吉本 亮子
	横田 正敏	加渡 雅浩	渡辺 幸	鳥 廣幸	織岡 明美(2)
	宮前 稔(2)	岡久 吉徳	久積 豊	宮崎 敏晴	林 好一
	多田 康文(2)	臣守 澄江(3)	山下 助信	柳本 五穂	大西 啓子(2)
	笠井 孝純	浜田茄代子(3)	山中 祐子	下山 久男	小山 秀晃
	松家 安信(2)	辻 義徳	岡村 吉啓	播 博文(2)	山本 雅敏
	野口 道子	竹内 好文	増谷 好子	松原 玲子	多田 進

四宮 清文	米塚 稔(2)	石川 徹雄	辻 絹子(2)	森内 昭男(2)
柳川 信子(3)	岡田 勝吉(2)	新居 奏	岡田 佳子	西野 倫子(2)
林 達也	渡邊 信二	山中 利治(2)	板東 律雄(2)	木村美紗子
向 儀一郎	梅本 貞範	平野 史子	大和 健司	国見 良幸(2)
高橋 弘	川西 明雄	佐野 和史(2)	伊達 照子	後藤 和美(2)
福原 和代	宮本 幸治(2)			

彫 刻

〔審査員〕	松永 勉	大津 文昭	鎌田 邦宏		
〔運営委員〕	井下 俊作				
〔美協副会長〕	河崎 良行				
〔無鑑査〕	東 光司				
〔放美賞〕	武田亜希子				
〔優秀賞〕	川下 知子				
〔入選〕	山下 益司	二宮 治夫	清水久美子	丸岡 明子	井上 喜美
	伊丹レイ子	檜崎 聖子	師橋 美樹	山本 高輔	山本 秀子

美術工芸

〔審査員〕	高橋 勇	橋 惠	松下 雄介		
〔運営委員〕	松下 慶一	森 堅一			
〔無鑑査〕	吉田 敏明	四十宮年代	寒川 治雄	斎藤 和彦	
〔放美賞〕	田村栄一郎				
〔優秀賞〕	大川 雅代	柿田コイト	田村 佳代	玉木 隆子	美浪 文
〔入選〕	尾谷 順子	大西 道夫			
	板東 啓子	松原 敦子	樫原 道雄	樫原フサコ	吉川 茂
	齋賀 洋子	坂 禮子	岡田 邦子	涌木 清子	涌川 美恵
	山内 雅文	吉田 和子	島村 広子	原 峯子	多田 健
	隅田 良佑(2)	森 克江(2)	中西 達也(2)	長尾 重美(2)	中島輝代子
	家形笑美子(2)	三宅 房子	竹内寿和子	藤田 恭子	一宮多枝子(2)
	吉田 陽子(2)	成瀬八千子	庄野 功洋	大貝 貞雄	大貝 寿子
	清水由利子	漆原 久子	武田 美子	加藤 伴江	阿部まきみ
	四宮 千代	濱 明雄	椎野 隆子	楠 正陶	谷 溪流
	南 泰樹(2)	鈴江 兼子	高田 幸時	太田 進	南 郁代
	板東 吉美	鳥井 明子	阿部真由美	野口 玉枝	山下壽美代
	富永 裕子	松本 孝子	野口加代子	宮本 薫	塩出 敬子
	江角 久子	相原 良平	島野 敏	山口 義仁	篠原 光彦

北谷 愛子	田村 純子	宇都宮二美	松原 静子	西田 善彦
石本 達	横井嘉世恵	村上 綾子	長尾 常夫	梶原 浩二
貝瀬 信子	松島 のり	大川 健次	近藤 川津	貝瀬 洋次
山崎 敏子	日高 琴美	前野 亮治	中村ようこ	谷内 年子
元木 節子	那村智恵子	岡崎 雅江	水野 豊子	村川 栄一
小笠原瑞穂	手塚 健一	安原多恵子	吉田 晃子	木下 佳子
萬藤 武徳	五味八千代	北岡 啓子	田井中裕子	小林 徳子
平岡英津子	松本みづる	十河 博	吉野 由紀	青木 寿美
鶴山 早苗	丸井 明(2)	大西真佐子	近藤 静恵	藤井 雅代
藤川 愛子	佐藤 玉恵	松本 智裕	福本 弘子	平尾 静子
友竹 広治				

書 道

〔審査員〕	能仁 華瑤	松本 清香	永松 春苑		
〔運営委員〕	上田 溪水	長原 皋聖	長谷 美峰		
〔美協理事〕	新居 藍州	荒井 彭仙	春藤 大耿		
〔美協顧問〕	荒井 天鶴				
〔無鑑査〕	高田由里子				
〔放美賞〕	林 みゆき				
〔優秀賞〕	河野 静江	藤原 育代	加藤 智子	向井美由希	折野 茂幸
	野口 有香	桑村 清			
〔入 選〕	森本知世子	川端喜美子	小野 幸久	弘田 長風	田中 久子
	洲崎 忠雄	藤永 真里	松本 雍司	春川 登	尾田 艶子
	増田 愛子	武市 勝恵	坂野 雅子	町田 哲子	佐野チヨミ
	中谷つや子	井内 愛	笹田 真里	湊 紀子	瀧倉 理恵
	鈴江美音子	宇津 清子	西村 泰子	浅野 義雄	瀧下 由子
	向井 静代	木室 勝江	隔山 和子	荒川 佳子	坪内佐智子
	谷本真由美	赤穂 郁代	向井 貴恵	吉成千恵子	谷本智栄子
	牧野美弥子	出口久美子	前川 博子	後藤田 瞳	稲田 翔邨
	稲田 紀子	吉田 和子	桐生 弘美	田井 晴風	大塚 唯士
	久保 朝子	樋口 郁江	伊達三智子	遠藤 香苗	井内 愛
	倭 いずみ	岡部ひとみ	後藤田洋子	中村 春岳	向井 絵美
	陶久 房枝	原 貞子	杉本 妙子	笠原 笑子	村部 幸子
	岡本美津子	大野シゲ子	三崎美佐代	桑田 次雄	片山 保
	西村 美保	宮内智津枝	西川 実希	満壽川愛弓	昇 利弘
	定本 宏美	早川美智子	児玉 幸子	吉田さい子	岡川 泰江
	谷本 清子	田村有里沙	西條 美賀	奥田 文子	荒川 哲信
	高見 忠義	高橋 信子	日野貴美子	恵美 恵子	田中さゆみ

笠井 仁美 乗村 崇生 建本紗也加 篠原 沙織 竹井 澄子
 井上 彰夫 栗城 茂子 久積 美紀 大石 正 信夫 陽子
 和田 悦代 高瀬 善郎 安芸 織恵 滝上 尚子 泰 千明
 福池 愛 須藤 智子

デザイン

〔審査員〕 福井 章 坂野美恵子 吉本 實
 〔運営委員〕 坂本三千一
 〔放美賞〕 福岡 由美
 〔優秀賞〕 有持 綾子 後藤 郁美 生川 佳代 三木由佳里 桐山 由実
 〔入選〕 松田 紘子 小谷 万智(3) 海部 美紀 有持 綾子 安藤 千枝
 坂本 幸 四宮のどか(2) 蔵澄 咲帆(2) 廣永 麻衣(2) 小笠原瑞穂
 新居 成美 米澤 麻美 鎌倉 麻衣(2) 木山 翔子 野口 和恵
 龍家 弘高 藤井 智也 森 直美 木内 彩 大下 哲郎
 荒井 美希 須藤 政代 入村友佳子 喜和田 幸 坂東 志保
 福岡 由美 川崎 克寛 宇野香名子 井内 智津 生田 典子
 新田 尚美 竹中 希実

第13回放美展出品・入選等状況

区分	部門	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
出品数		52	175	498	17	184	166	117	1,209
人数		49	129	199	17	123	153	92	762
入選	率	63.5%	48.0%	39.8%	70.6%	69.6%	66.3%	37.6%	50.4%
	放美賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	優秀賞	2	7	20	1	7	7	5	49
	入選	30	76	177	10	120	102	38	553
	計	33	84	198	12	128	110	44	609
選外	率	36.5%	52.0%	60.2%	29.4%	30.4%	33.7%	62.4%	49.6%
	落選	19	91	300	5	56	56	73	600
無審査	審査員	3	3	3	3	3	3	3	21
	運営委員	1	3	3	1	2	3	1	14
	美協役員	3	4	1	1		4		13
	無鑑査	2	6	4	1	4	1		18
	計	9	16	11	6	9	11	4	66
展示数		42	100	209	18	137	121	48	675

各部記録

日 本 画 部

部 会 長 西 野 和 男

年間展望

◎第13回放美展（4月28日～5月2日 県郷土文化会館）

出品点数は52点で、その中から入選30点、放美賞1点、優秀賞2点を選んだ。

一般的に出品者の層が厚くエネルギーがあふれて好感の持てる作品が多かった。会場の関係でおしくも選に洩れた作品の中にも今後を期待できる作品が多く、今後も、個性と感性を大切に作品づくりに期待したい。

放 美 賞	「ソラ」	村本 美歌
優 秀 賞	「樹」	米沢 稔
〃	「桜」	天羽 弘毅

◎第59回県美術展（11月16日～23日 県郷土文化会館）

今回の審査は、日展会員の竹内浩一先生にお願いした。応募点数69点で、その中から特選（特別賞）1、特選1、準特選3、奨励賞3、を含む入選42点を選んだ。竹内先生からの総評は次のようなものであった。

描き手のモチーフに対する思いは伝わってきた。ただ「日本画」のパターンや様式にとられすぎているのではないか。絵とは本来競い合うものではない。本能的に絵の好きな人がいて、絵を描く立場も暮らす場所も違うが、その場所でどんな感動をうけ、どう表現したいと思ったか、心の奥底に「使命感」があれば十分だろう。

もちろん岩絵の具という難しい顔料を使うので、技術は大切だが、自然をいくら克明に描いても、説明が先に立って手元で描いては感動は伝わってこない。「あの形は面白かった、あの色は新鮮だった」という自分の中から出てきた感動を大切にしてほしい。

特 選（徳島市長賞）	「生々」	坂 容子
〃	「初秋」	國尾由美子
準特選	「野菜たちの饗宴」	三ッ本繁美
〃	「時」	岩脇 恵子
〃	「刻」	西村美也子
奨励賞	「ドイツ兵を偲んで…」	三谷 浩三
〃	「日だまり」	福田佳代子
〃	「老梅」	平野ひろみ

会員消息

- 1月 第11回海部水墨画展 四国エネルギープラザ阿南
木内和美
- 2月 第35回画展ふるさと 県郷土文化会館 濱口芳春
◇ 第93回徳島県女流美術家協会展（小作品）
阿波銀プラザ 長尾弘子・土井洋子他15名
- 3月 第39回日本墨彩画院展 香川県文化会館 長谷 壽・濱口芳春（賛助）
◇ 第12回海部合同水墨画展 牟岐町海の総合文化センター
木内和美
◇ 第44回日本南画院展 東京・京都・大阪美術館
長谷 壽・濱口芳春（特選）・藤井瑞雲
◇ 第12回空谷記念田野全国水墨画展
高知県田野町ふれあいセンター
江上豊溪・木内和美
- 4月 第35回珀雲社展 阿波銀プラザ 森 蔦苑・長谷 壽・濱口芳春
斎藤谿春・川原光恵・藤井瑞雲
◇ 第37回日春展 東京銀座 松屋 岡 英彦・岩瀬洋子
- 5月 第10回記念朱泥会展・あゆみ展（長尾弘子主宰）
徳島市シビックセンター 長尾弘子他会員
◇ 第33回仙台・徳島文化交流美術展
せんだいメディアテーク（5Fギャラリー）
長尾弘子・土井洋子他
◇ 第43回阿南市美術展 阿南市文化会館 長谷 壽・津田津保三
◇ 第42回溪生社水墨画展 県郷土文化会館 横田谿秀・江上豊溪
◇ 阿南市文化協会10周年阿南文化賞受賞 長谷 壽
- 6月 岡 英彦展 四国大学交流プラザキャンパスギャラリー
岡 英彦
◇ 第37回珀雲社展 阿波銀プラザ 長谷 壽・濱口芳春・藤井瑞雲
川原光恵・吉田満子
◇ 日本南画院高知展 高知県立美術館 濱口芳春
◇ 第13回海部合同水墨画展 牟岐町海の総合文化センター
木内和美

7月	京の今日展	京都文化博物館	土方るみ子
♪	第4回春郊会現代南画展	徳島市シビックセンター	濱口芳春
8月	第32回絵で見る徳島展	県郷土文化会館	濱口芳春
9月	第14回海部水墨画展	牟岐町海の総合文化センター	木内和美
♪	第94回徳島県女流美術家協会展	県郷土文化会館	長尾弘子・土井洋子他
♪	日本ツーバイツ展	阿波銀プラザ	斎藤久代・福田佳代子・長尾福子
10月	第62回有秋会展	大阪市立美術館	濱口芳春（無鑑査）・長谷 壽 藤井瑞雲・吉田満子
♪	日和佐隣保館作品展	日和佐隣保館	長谷 壽
♪	第33回阿南市文化祭美術展	阿南市文化会館	長谷 壽・津田津保三
♪	第6回由岐町文化祭展	由岐ポッポマリン	長谷 壽
11月	第36回日展	東京都美術館	橋本正弘・岡 英彦・土方るみ子
♪	読売新聞大阪本社名士名流作品展	近鉄百貨店阿倍野店	土方るみ子
♪	日和佐町文化祭展	日和佐公民館	坂本久江・白河邦子・西口光代 南 清子
♪	海部・海南水墨画展	海南文化村	木内和美
♪	第5回福井町文化祭展	福井町総合センター	長谷 壽
12月	第33回徳島新聞社チャリティー作品展	徳島そごう	長尾弘子・岡 英彦
♪	第7回溪生社水墨画小品展	徳島市シビックセンター	横田谿秀・江上豊溪
♪	江上豊溪水墨画展	徳島市シビックセンター	江上豊溪

洋 画 部

部 会 長 榊 田 務

年間展望

◎第59回県美術展（第2期 11月16日（火）～23日（祝） 県郷土文化会館）

出品総数は281点で、前回より、減少したが、前々回展との比較では、わずかながら増だった。入賞・入選点数は92点で、入選率は32.7パーセントで昨年と同率の厳選となった。

審査員には、日本芸術院会員で日展事務局長の中山忠彦先生をお迎えした。その審査評の一部を紹介する。

「写実や具象などのジャンルにこだわることなく、今日を見据えた時代性のあるものや、時代を切り開くようなものを選んだ。（中略）絵は醸成、つまり醸し出すことが大事だと思う。

徳島新聞社長賞の青木幸子「黒い池」は、一見、目立たず、見過ごされがちな作品だが、人の気持ちをとらえるものがあった。泥の中に咲く蓮の代わりに人形があり、周囲に缶や瓶など捨てられた物や枯れた葉が配置され、暗く、物を大切にしない現代世相を表している。その中で、人形の表情が柔らかく、暗い時代の中にある明日への光明のように見えた。また、人形は捨てられたのか置かれたのか、水の下には何があるのだろうか、手を入れるのが怖いな…、といろんなことを考えさせられたのもよかった。

特選の島村英之「川沿い」は、目にした風景をそのまま描いているようだが、日常のなかにある生活の感動を造形に持っていく力に優れている。川を流れる水や建物の奥行きも、巧みに表現されている。特選の伊藤紀子「浮かんでくる詩」は、版画の技法を生かして作者の意図をよく作品に反映しており、訴求力がある。デリケートな色使いと構成力に優れ、ポエジーがあり、何ともいいようがない雰囲気満ちている。

本県展の審査は初めてだが、阿波踊りや人形浄瑠璃などに長い伝統を持つ徳島の風土にはぐくまれた芸術的な感性に興味を持っていた。レベルに上下の差はあるが、全体的に高水準だった。（略）」

◎第13回放美展（4月28日（木）～5月2日（月） 県郷土文化会館）

洋画部門の応募者は138人、点数は175点である。入賞・入選は84点で例年のことながら厳選となった。壁面の都合で展示されなかった作品も遜色のない好作品で不運としか言いようがない。これにめげず今後も精進されて応募されるようお願いしたい。

審査評を紹介する。

「昨年引続き厳しい入選率となり、数点出品された人も1点のみの入選にとどまってしまうという状況だった。全体的な傾向として、具象的な作品が多く、人物、風景など生活をテーマにした詩情あふれる作品が目立った。表現技術も年々向上して、多彩な技法を駆使する人も多くなっている。若い作品、老練な作品、クールな作品とバラエティーに富んだ作品が選ばれ、楽しんで鑑賞していただけたと思う。放美賞に輝いた岸本花子さんの「N子像」は、しっかりしたデッサンをベースに、単純で効果的な画面構成と落ち着いた色調で画面をコントロールした力は、ベテランの作品というべきだ。優秀賞では、野上恵子さんの「水遊び」、田中シゲミさんの「壺の市」がともに詩情豊かで、単なる生活空間の描写に終わっていなかった点で秀逸だった。」

◎第19回洋画部会員展（5月20日（木）～5月23日（日） 県郷土文化会館）

出品総数108点、各作品とも力作ぞろいで見応えのある展覧会になった。会員相互の研究・交流の場として更に充実を図って多くの県民の方々に愛好される展覧会となるよう願ってやまない。会員各位のご協力を切にお願いしたい。

なお、会期中の5月22日には、会員相互の親睦を深める懇親会をホテルグランドパレス徳島で開催した。また、6月19日には実行委員会を開き第20回記念展のあり方についてのアンケートの具体的提案について協議し、作品の大きさは20号以上。記念展にふさわしい作品であれば旧作でも可とした。

会員の訃報

・岡本征二氏が平成16年7月21日ご逝去されました。氏は県美術家協会理事、洋画部委員として、また、洋画部事務局の仕事を長年にわたって担当されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

・浅田二郎氏が平成17年2月15日ご逝去されました。氏は県美術家協会洋画部会員として、また、長年にわたり県展へ賛助出品され、ご協力を頂きました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

・武市善次郎氏が平成17年2月25日ご逝去されました。氏は洋画部会員展の実行委員をつとめられ、また県美協理事、県美協洋画部委員も努められた時代もあり、県展の発展に尽力されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

会員消息

- 青木 幸子 洋画部会員展（郷文）、八紅会展（阿波銀プラザ）
- 阿部 昌子 土曜展・洋画部会員展・青美展・徳島県健康福祉祭美術展（郷文）
- 浅山 久子 八紅展（阿波銀プラザ）
- 東 紀美子 洋画部会員展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）、波の会・つくしの会合同絵画展（阿南市文化会館）
- 天田 弘之 第37回モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、第54回モダンアート展（東京都立美術館）、第54回モダンアート京都展（京都市美術館）、洋画部会員展・燎4人展（郷文）、第23回関西モダンアート展（大阪府立現代美術センター）
- 井沢 忠昭 洋画部会員展（郷文）、阿南市文化展・阿南市展（阿南文化会館）、全理展（東京代々木全会館）、加茂谷文化展（加茂谷公民館）、青彩美術展（徳島市シビックセンター）
- 伊勢 浩章 洋画部会員展・徳島平和美術展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 伊原 妙子 洋画部会員展・鴨島グループ展（郷文）、三町交流展・鴨島町総合美術展（鴨島町文化研修センター）、サロン展（本郷ギャラリー）
- 乾 繁春 第64回美術文化展：会員出品（東京都立美術館）、第64回関西美術文化展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部展（愛媛県立美術館）、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、美術文化14人展（東京銀座アートギャラリー）、NHK高松文化センター水彩美学展、及び油彩美学展：賛助出品（高松市立美術館ギャラリー）、世代美術展（徳島市シビックセンター）
- 岩谷 明 徳島平和美術展・青美展・ふるさとを描き遺す会展（郷文）、つくし会展（ヨンデンプラザ徳島）、岩谷 明水彩画展（徳島メガネ）
- 宇高 桂子 第58回女流画家協会展（東京都美術館）、洋画部会員展・第94回徳島県女流美術家協会展（郷文）・アトリエUDAKAクリスマス作品展（大通フリーゾーンギャラリー）
- 越久 高照 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：招待出品・青美展（郷文）、藍美展（藍住町福祉センター）、第19回国民文化祭ふくおか2004（福岡県立美術館）、第17回上野の森美術館日本の自然を描く展（上野の森美術館・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー）

- 小笠原秋子 洋画部会員展（郷文）、第3回輪の会展（貞光ゆうゆう館）、土曜画会展：三好文化祭：協賛出品・三好郡教職員春風展（たばこ資料館）
- 尾崎 素子 東光会展（東京都立美術館）、鳴門市展（鳴門市市民会館）、洋画部会員展（郷文）、白鳳洋画グループ展（鳴門市図書館）
- 大塚 政孜 鴨島・市場・阿波町絵画交流展（各町文化センター）、洋画部会員展・市場油絵会展（郷文）、市場町文化協会総合作品展・市場町文化祭（市場町ふれあいセンター）
- 大西 文代 青彩美術展（徳島市シビックセンター）
- 大西 道夫 第54回モダンアート展（東京都立美術館）、モダンアート京都展（京都市美術館）、モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、道草展（喫茶やまなみ）
- 大西利津子 第32回徳島市芸術祭美術展・洋画部会員展（郷文）
- 大野 文雄 青彩美術展（徳島市シビックセンター）、徳島市サークルふれあい展（徳島市中央公民館）
- 岡 多美子 第94回徳島県女流美術家協会展・洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：審査員出品（郷文）、徳島県女流美術家協会小品展（阿波銀プラザ）、仙台・徳島文化交流展（仙台メディアテーク）、デッサン会（春と秋・四電プラザ）、中・日美術作品交流展（国立上海美術館）
- 岡田 君代 洋画部会員展・徳島平和美術展・青美展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 岡田 守 徳島市芸術祭美術展：特別出品・洋画部会員展（郷文）、第63回世代美術展（徳島市シビックセンター）
- 片山 富市 第70回旺玄会展：会友出品（東京都立美術館）、第70回旺玄会大阪巡回展：会友出品・第52回関西旺玄展：会友出品（大阪市立美術館）、第8回旺玄展東四国支部展（郷文）、第10回上板町美術愛好会作品展（上板町技の館）
- 賀木 道子 洋画部会員展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）、第70回記念旺玄展（東京都立美術館）
- 木下 和江 洋画部会員展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）、土曜画会展：三好文化祭：協賛出品・輪の会展（貞光ゆうゆう館）
- 河田 安市 第63回日展：会友・入選、第80回白日会展：会員出品（東京都立美術館）、白日会巡回展：出品（名古屋展・関西展・鹿児島展）、洋画部会員展（郷文）
- 河野 公子 第64回美術文化展（東京都立美術館）、第64回関西美術文化展（大阪市立

美術館)、美術文化徳島グループ展(阿波銀プラザ)、美術文化四国支部展(愛媛県立美術館)、洋画部会員展・徳島平和展・青美展(郷文)、15人展(ヨンデンプラザ徳島)

- 川原 禮子 土曜画会展・三好文化祭：協賛出品(たばこ産業資料館)、第3回輪の会展(貞光ゆうゆう館)、徳島アート21(阿波銀プラザ)
- 河本多恵子 洋画部会員展・徳島新聞カルチャー展(郷文)、徳島市芸術祭美術展(郷文)、八紅展(阿波銀プラザ)、国府文化祭(国府コミュニティセンター)
- 北 美智子 徳島市芸術祭美術展・洋画部会員展(郷文)、八紅展(阿波銀プラザ)
- 喜多 直彦 洋画部会員展(郷文)
- 木谷 弘 第64回美術文化展(東京都立美術館)、美術文化新人選抜展(東京・銀座)、第64回関西美術文化展(大阪市立美術館)、美術文化四国支部展(愛媛県立美術館)、美術文化徳島グループ展(阿波銀プラザ)、世代美術展(徳島市シビックセンター)、15人展(ヨンデンプラザ徳島)
- 岸本 花子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展・徳島新聞カルチャー展(郷文)、八紅展(阿波銀プラザ)、八万文化祭(八万コミュニティセンター)
- 黒崎 志郎 第57回示現会展：会員出品・第92回日本水彩展：会員出品(東京都美術館)、第35回示現会徳島支部展(阿波銀プラザ)、洋画部会員展(郷文)
- 近藤 克子 洋画部会員展、ふるさとを描き遺す会展(郷文)、東光会展(東京都立美術館)
- 後藤ユリ子 第64回美術文化展：佳作賞受賞・会友推挙(東京都立美術館)、第64回関西美術文化展(大阪市立美術館)、美術文化四国支部展(愛媛県立美術館)、美術文化徳島グループ展(阿波銀プラザ)、洋画部会員展(郷文)
- 後藤田仁一 第64回美術文化展(東京都立美術館)、第64回関西美術文化展(大阪市立美術館)、美術文化四国支部展(愛媛県立美術館)、美術文化徳島グループ展(阿波銀プラザ)、洋画部会員展(郷文)、世代美術展(徳島市シビックセンター)、悠美展(ヨンデンプラザ徳島)
- 嵯峨 潤三 洋画部会員展(郷文)、すどり洋画展(西宮市立北口ギャラリー)
- 佐藤 敬子 第19回洋画部会員展・第60回青美展・第26回鴨美展(郷文)、第60回現展(東京都立美術館)
- 佐野比呂志 第41回関西独立展：無鑑査出品(大阪市立美術館)、洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：審査員出品(郷文)、世代美術展(徳島市シビックセンター)、徳島アート21：賛助出品(阿波銀プラザ)

- 斎藤 靖子 洋画部会員展（郷文）、版画院展：会員出品（東京都立美術館）、徳島版画展、徳島女流美術家協会小品展（阿波銀プラザ）第94回徳島県女流美術家協会展（郷文）、版画とガラスの親子展（ギャラリーDEN）、版画と染色二人展（引田町）
- 笹田 興一 洋画部会員展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 志摩 政照 洋画部会員展（郷文）、鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）、第6回鴨島・市場・阿波町絵画交流展（各町文化センター）
- 島上 二郎 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展（郷文）
- 島田美奈子 洋画部会員展・徳島新聞カルチャー展・徳島市芸術祭美術展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 清水 亟悞 洋画部会員展（郷文）、第35回個展（東京銀座ハヤシ画廊）、第36回個展（徳島そごう）
- 下時次郎秀臣 白日会展：会員出品（東京都立美術館）、白日会巡回展（鹿児島、愛知県立美術館・近鉄アート館）、東西名作美術観賞会（大阪会館）、現代洋画秀作展（梅田画廊・県青少年センター）、日展出品（東京都立美術館）、かけがえのない現象展（日本橋・北浜・福岡三越）
- 四宮 久子 二紀展（東京都立美術館）、神戸二紀女流展（ギャラリーほりかわ）、アトリエバク展（阿波銀プラザ）
- 鈴江美代子 旺玄会展：会員出品・新美術展：会友出品（東京都立美術館）
- 鈴木 敬子 洋画部会員展・M展（郷文）、鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）、第6回鴨島・市場・阿波三町交流美術展（各町文化センター）
- 住友 義彦 洋画部会員展（郷文）、羽ノ浦町文化祭（羽ノ浦総合体育館）
- 曾我部秀子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 田岡 荘二 洋画部会員展（郷文）
- 田中シゲミ 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：無監査出品・徳島新聞カルチャー展（郷文）、大麻町文化展（大麻町公民館）
- 田中 康子 洋画部会員展、徳島市芸術祭美術展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、国府文化祭（国府コミュニティセンター）、徳島県秀作巡回美術展（県内）
- 田野 安子 グループ輪の会展（貞光ゆうゆう館）、三好文化祭協賛：土曜画会展（池田小）

- 田 浜子 東光会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展（郷文）
- 武市善次郎 洋画部会員展・平和美術展（郷文）、青美展（阿波銀プラザ）、15人展（ヨ
ンデンプラザ徳島）、大阪100人展（大阪平和館）、東京100人展（東京平和
館）、徳島救援美術展・県文化協会チャリティー展（徳島市シビックセン
ター）、アトリエZグループ展（石井中央公民館）、有誠園障害者車イス美
術部展（徳島メガネ石井支部本店ロビー）
- 武田 洋子 輪の会展（貞光ゆうゆう館）、平家まつり作品展（東祖谷歴史民族資料館）、
三好文化祭協賛：土曜画会展（池田小）、春風展（たばこ産業資料館）
- 玉田 秀子 洋画部会員展・徳島新聞カルチャー展・徳島市芸術祭美術展：招待出品
（郷文）、徳島アート21・八紅展（阿波銀プラザ）、波の会・つくしの会合
同絵画展（阿南市文化会館）
- 為実美恵子 輪の会員展（貞光ゆうゆう館）、三好文化祭協賛：土曜画会展（池田小）
- 辻野 正廣 洋画部会員展（郷文）、青彩美術展（徳島市シビックセンター）
- 露口 敏幸 洋画部会員展（郷文）
- 唐渡 覚 第6回鴨島・市場・阿波町絵画交流展（各町文化センター）、第23回市場
町文化祭（市場町コミュニティセンター）、第1回市場油絵会作品展（郷文）
- 中辻奈美枝 洋画部会員展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）、波の会・つくしの
会合同絵画展（阿南市文化会館）
- 中村 晴代 青彩美術展（徳島市シビックセンター）
- 中山 清一 徳島市芸術祭美術展：出品・洋画部会員展（郷文）、美術文化徳島グルー
プ展（阿波銀プラザ）、第63回美術文化美術展：会友出品（東京都立美術
館）、美術文化関西美術展（大阪市立美術館）、2004美術文化四国支部愛媛
展（愛媛県立美術館）
- 永井 郁枝 東光会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展（郷文）
- 長尾 弘久 徳島アート21展・徳島版画2004展（阿波銀プラザ）
- 長野 満子 洋画部会員展・画展ふるさと・絵で見る徳島展（郷文）、21世紀に遺した
いふるさと徳島の風景展（城美術館）、チャリティー小品展（ふれあい健
康館）
- 永山 隆二 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：審査員出品（郷文）、世代美術展
（徳島市シビックセンター）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 南城ミツ子 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部
展・中央展出品者絵画展（郷文）

- 二條 均 洋画部会員展・徳島平和美術展・青美展（郷文）、板野美術クラブ展（板野町文化の館）
- 仁木 幸子 洋画部会員展・徳島新聞カルチャー展（郷文）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 新居 千尋 洋画部会員展（郷文）、あしあと展（阿波銀プラザ）、秀作巡回美術展（県内）
- 西川 周三 洋画部会員展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）
- 西川 敬子 洋画部会員展・徳島平和展・徳島県女流美術家協会展（郷文）、徳島アート21・徳島県女流美術家協会小品展（阿波銀プラザ）、徳島・仙台文化交流美術展（仙台メディアテーク）
- 西川 照美 洋画部会員展（郷文）、アトリエバクグループ展（阿波銀プラザ）
- 西崎 志帆 洋画部会員展・徳島平和美術展（郷文）、徳島アート21展（阿波銀プラザ）、昭和美術展（東京都立美術館）
- 野村 雅子 洋画部会員展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）、波の会・つくしの会合同絵画展（阿南市文化会館）
- 林 静代 洋画部会員展（郷文）、アトリエバクグループ展（阿波銀プラザ）
- 林 伸也 第17回上野の森美術館（日本の自然を描く展）（上野の森美術館）、第1回あしあと展（阿波銀プラザ）
- 林 信夫 洋画部会員展（郷文）
- 林 康太郎 洋画部会員展（郷文）、第63回美術文化展（東京都立美術館）、第63回関西美術文化展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部展（愛媛県立美術館）、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）
- 日出美佐江 徳島新聞カルチャー展（郷文）
- 平木 美鶴 第58回二紀展・日本版画協会展（東京都立美術館）、個展（吉野川市立川島図書館・愛知県松樺堂）、徳島二紀展（県近代美術館）、第2回徳島版画展（阿波銀プラザ）、木版画100年展（名古屋市立美術館）、第49回CWAJ現代版画展（東京アメリカンクラブ）
- 平田スミコ 洋画部会員展（郷文）、徳島版画会展（阿波銀プラザ）、NHK文化センター美術大賞展：奨励賞（東京六本木ヒルズ、京都西陣織会館）、版画作家による年賀状展（相生森林美術館）
- 平松 智子 鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）、青美展（郷文）、三町交流展（鴨島文化研修センター）

- 福富 正二 洋画部会員展（郷文）
- 福本 武子 東光会展：会友出品（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展・中央展出品者絵画展（郷文）
- 福良 哲子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：招待出品・徳島新聞カルチャー展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、加茂谷文化祭（加茂谷公民館）
- 藤井 香世 第64回美術文化展（東京都立美術館）、第64回関西美術文化展（大阪市立美術館）、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展・徳島平和美術展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 藤崎 恭子 「日本の自然を描く展」（上野の森美術館）
- 藤埜 理 創元会展（東京都立美術館）、洋画部会員展（郷文）、西讃美術展（普通寺市美術館）
- 藤丸 家栄 徳島アート21（阿波銀プラザ）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品（池田小）
- 藤本 晴子 洋画部会員展（郷文）、ハートアートコミュニケーション（目黒美術館）、新春展（世田谷美術館）、カンヌ国際芸術祭（パ・レ・デ・フェスティバル）、エコロジーアースアート（埼玉県立近代美術館）、アヴィニョン百芸祭（アヴィニョン法王庁宮殿）、デンマーク芸術世紀フェスティバル（コペンハーゲン市庁舎）、英国国際美術博覧会：文化親善名誉作家（英国国立レディング大学）、徳島県健康福祉美術展（郷文）、二科展（東京都立美術館）
- 堀江 幸子 洋画部会員展・青美展（郷文）、鴨島町総合美術展・三町交流美術展（鴨島町文化研修センター）
- 堀切 薫子 青彩美術展（徳島市シビックセンター）、藍美展（藍住町福祉センター）
- 真鍋 弘子 洋画部会員展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）
- 真野 孝彦 第6回鴨島・市場・阿波町絵画交流展（各町文化センター）、第25回鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）、第60回青年美術クラブ展（郷文）、スケッチ展（神山アート）、ピーコック展（県いこいの館）
- 増井 厚子 洋画部会員展（郷文）
- 梶田 務 東光会徳島支部展・洋画部会員展（郷文）、四国大学交流プラザ会館記念展・四国大学教員展（四国大学交流プラザ）
- 松尾 彰滋 第80回記念白日会展：会員出品（東京都立美術館）、鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）
- 松川 寛 第54回モダンアート協会展（東京都立美術館）、第54回モダンアート京都

展（京都市美術館）、第23回関西モダンアート展（大阪府立現代美術センター）、第37回モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、第19回県美術家協会洋画部会員展・第16回療4人展・第37回石井美術の会作品展・第17回アトリエM作品展（郷文）

- 馬淵 博子 洋画部会員展（郷文）、アトリエバク展（阿波銀プラザ）
- 三沢 尚子 関西水彩画展（大阪市立美術館）、第94回県女流美術家協会展・第16回療4人展（郷文）、それいゆ水彩画展（阿波銀プラザ）、ペアーレ水彩画ロビー展（ペアーレ）
- 三好 初子 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、徳島・仙台文化交流美術展（仙台メディアテーク）、洋画部会員展・東光会徳島支部展・徳島県女流美術家協会展（郷文）、徳島県女流美術家協会小品展（阿波銀プラザ）、藍美展（藍住町福祉センター）
- 水間 利生 第64回美術文化展（東京都立美術館）、第62回美術文化関西展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部展（愛媛県立美術館）、洋画部会員展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）
- 三谷多美子 洋画部会員展（郷文）、貞光文化祭（ゆうゆう館）
- 三谷ミヤ子 三谷ミヤ子個展・八紅展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：招待出品（郷文）、国際美術大賞展（国際美術館）、三谷ミヤ子小品個展（喫茶グレイス）
- 峯 幸子 洋画部会員展・女流美術家協会展（郷文）、む・アート展（阿波銀プラザ）
- 宮本 幸江 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、徳島県女流美術家協会展・東光会徳島支部展・洋画部会員展・石井町文化祭美術展（郷文）
- 毛利 谷子 東光会展・会員出品（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展・第94回徳島県女流美術家協会展・第35回石井美術の会作品展（郷文）
- 山口 和子 青彩美術展（徳島市シビックセンター）
- 山口美千代 洋画部会員展・青美展（郷文）
- 吉田 実 鴨島・市場・阿波町絵画交流展（各町文化センター）、・示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、阿波美術クラブグループ展（阿波町立図書館）、示現会展（東京都立美術館）、示現会巡回展（郷文）

写 真 部

部 会 長 櫛 淵 魏

年間展望

◎第59回県美術展（第2期11月16日～23日 県郷土文化会館）

今回の応募総数626点、出品者数277人であった。審査員には東京工芸大学教授で我が国第一級の写真家、大西芳野先生をお迎えした。審査結果は特選4点、準特選8点、奨励賞8点、入選139点が選出された。総評として「色調、プリント、構図など全体を通してレベルが高く、選考は難しかった。表情のとらえ方もよく、凝縮された自分の思いが一枚の写真に表現されている作品が目立った。自然な流れの中で生まれた写真は力強い。場面をつくった場合、どうしても不自然な感じが写真に写り込んでしまう。できるだけ本物の瞬間をとらえようと努力することが重要だ。そのためには、待ったり、出合いがある場所へ足を運ぶことも大切になる。」との講評とアドバイスをいただいた。

特 選	「マイプール」	佐野 和史（特別賞）
ゝ	「初夏」	西野 倫子
ゝ	「よさこいの女」	森住 博
ゝ	「不安な街」	播 博文
準特選	富加見美枝・原田 宏・船越 正文・後藤 正巳	
	野藤みきよ・石川 徹雄・正見 晃章・堀口 幸男	

第1期開展前日の11月5日午後6時から、徳島プリンスホテルで表彰式があり、引き続きオープニングパーティーが行われた。

◎第13回放美展（4月28日～5月2日 県郷土文化会館）

本年度の応募総数498点、出品人数199人であった。出品数・人数とも昨年より少々の減少はあったが、内容的には年々向上しているように思われる。審査員として、井上光雄、安長剛、酒井博司の三氏が担当した。審査の結果は放美賞1点、優秀賞20点、入選177点が選出された。

放美賞	「ともだち」山本雅敏	
優秀賞	粟田ふさえ・久保 英樹・野口 道子・多田 進	
	米塚 稔・石川 徹雄・橋本 勝・木村美紗子	
	向 儀一郎・佐野 和史・森 光・大西 哲子	

大和 健司・伊達 照子・梅本 貞範・南山 葉子
新開 修・川真田慶治・佐藤 晃一・松家 安信

◎平成16年度徳島県秀作巡回美術展（10月20日～11月18日）

日和佐町、羽ノ浦町、由岐町で巡回展示する。出品者は荒井賢治、橋本圭祐、古井謙吉、安長剛の四氏であった。

◎県美術家協会 写真部撮影会（6月20日）

本年度は撮影地を京都とだけ定め、特に場所を決めずに各自で目的地を選んで撮影という主旨で会員を募集したところ33名が参加した。徳島駅前午前7時出発、京都駅付近の東本願寺に午前10時前に到着解散、撮影を楽しみ午後3時同寺に集合、午後6時予定通り全員無事帰着した。撮影会の開催、運営には次の各委員にご尽力をいただいた。

三木 晴夫・森住 博・古井 謙吉・上野 照文
井藤 光章・林 敏彦・井上 憲治

会員の訃報

近藤誠造氏が12月27日ご逝去されました。近藤氏は徳島新聞社写真部長として活躍され、退職後は県写真界、地域社会に大いに貢献されました。享年75歳。心からご冥福をお祈り申し上げます。

各分野での会員の活動状況 ～中央展・個展・団体展など～

◎第2回全日本動物写真コンテスト（4月27日～5月3日 大阪駅前第2ビル5階）

入 選：野藤みきよ

◎第21回「日本の自然」写真コンテスト（6月24日～7月7日 東京展ほか全国巡回）

都道府県一賞：阿部 啓三

◎第12回全日本女性写真コンテスト（9月10日～16日 富士フォトサロン大阪ほか）

入 選：粟田ふさえ

◎第52回二科会写真部展（9月1日～15日 東京都美術館）

荒井賢治氏が9月1日二科会写真部会員に推挙された。大和健司氏が昨年51回展の入賞（富士フィルム賞）で会友に推挙された。

会 員 出 品：荒井 賢治

公友出品：森住 博・大和 健司

公募入選：志摩 育美・柳川 信子・赤木 昭子・西野 倫子・板東 敏晴
播 博文・平野 史子

◎第51回阿波踊り写真コンクール（10月17日～24日 阿波踊り会館）

推 薦：池添 秀信

特 選：岸田 義市

準特選：野藤みきよ・原井 裕夫・岡村 清

入 選：阿部 啓三・野藤 敏美・大津 勝治・森 光・岩崎 英昭

◎第11回朝日四国写真展（11月21日 徳島市にて審査 四国4県巡回）

徳島県知事賞：根ヶ山 治

全日写連徳島県本部長賞：林 敏彦

特 選：川真田慶治

奨 励 賞：森 賢一・野藤みきよ・森住 博・井上 憲治

入 選：姫田 慎治・佐藤 義雄・粟田ふさえ・佐治 孝・阿部 啓三
野藤 敏美・橋本 圭祐

◎第38回日本光画会「光展」（1月10日～12日 徳島市シビックセンター）

会員出品：酒井 博司

会友出品：佐藤 義雄

入 選：吉村 敏嗣

◎第19回全日本写真連盟県本部展（2月6日～8日 徳島市シビックセンター）

県本部委員長：井藤 光章

出 品 者：西條 征二・酒井 博司・佐治 孝・佐藤 考利・佐藤 義雄

清水 定七・武林 恭史・根ヶ山 治・根ヶ山美江・野藤 敏美

野藤みきよ・橋本 圭祐・林 敏彦・古井 謙吉・堀口 幸男

三木 晴夫・三木 理司・森 賢一・森住 博・吉村 敏嗣

阿部 啓三・荒井 賢治・粟田ふさえ・井藤 光章・井上 憲治

井上 光雄・上野 照文・川真田慶治・久我 千鶴・櫛淵 魏

◎第35回ナルトびんぼけクラブ写真展（2月13日～15日 鳴門市立図書館3階）

会 長：板東 敏晴

◎英藍フォトクラブ展（3月5日～7日 阿波銀プラザ）

代 表：藤川 光昭

◎日本風景写真協会徳島支部展（3月1日～31日 カメラのキタムラ鴨島店）

出品者：岩崎 英昭・川真田慶治

◎第21回サンカ会写真作品展（4月10日～12日 徳島市シビックセンター）

出品者：森内 昭男・田中 伸廣

◎自然の四季風景写真展（4月14日～19日 徳島市シビックセンター）

会長：大貝 久義

◎第5回ニコールクラブ徳島支部写真展（4月24日～26日 徳島市シビックセンター）

会長：榊 魏

出品者：井藤 光章・川真田慶治・榊 魏・西條 征二・酒井 博司
佐治 孝・佐藤 義雄・清水 定七・武林 恭史・中川 定典
根ヶ山 治・根ヶ山美江・野藤 敏美・野藤みきよ・藤田 卓嗣
古井 謙吉・堀口 幸男・三木 晴夫・三木 理司・森 賢一

◎写遊人^{こま}独楽写真展（4月11日～5月9日 藍の館）

代表：井上 翔

出品者：川口 進・古井 謙吉・井上 憲治・井上 翔

◎第7回麻植写友クラブ写真展（5月5日～31日 カメラのキタムラ鴨島店）

会長：佐野 辰夫

◎第4回ユニットDデジタル写真展（5月28日～30日 徳島市シビックセンター）

代表：上野 照文

出品者：上野 照文・橋本 圭祐・林 敏彦・井上 憲治・多川 静守
多田 晴美・柳本 正

◎第27回写真同人「炎」作品展（6月4日～6日 徳島市シビックセンター）

代表：西條 征二

出品者：荒井 賢治・井藤 光章・井上 憲治・川真田慶治・榊 魏
久保 英樹・後藤 和美・西條 征二・佐治 孝・佐藤 考利
武林 恭史・田村 泰弘・伊達 照子・土橋 成行・中川 定典
林 敏彦・古井 謙吉・堀口 幸男・森 賢一・大和 健司
吉崎 伝

◎第22回写真集団「風」作品展（6月25日～27日 徳島市シビックセンター）

代表：安長 剛

出品者：小林 保子・堀口 幸男・安長 剛

◎第10回徳島ライカクラブ写真展（6月28日～7月1日 ヨンデンプラザ徳島）

会長：武内 亨

出品者：武内 亨・藤井 梵・後藤 能大

◎「大宰府～遠い都」荒井賢治写真展（6月19日～7月25日 県立文学書道館）

県立文学書道館の大宰府天満宮宝物展との併催での荒井賢治氏の個展。全倍～全四倍以上の大画面35点による迫力ある充実した展示であった。

◎第9回「写一会」写真展（7月20日～22日 ヨンデンプラザ徳島）

会長：後藤 正巳

出品者：安部 幸子・三木 恭子・宮崎 行弘・矢部 志江

◎第18回徳島花を写す会写真展（8月20日～22日 徳島市シビックセンター）

会長：酒井 博司

出品者：酒井 博司・久保 英樹・佐藤 義雄・清水 定七・森 賢一
吉村 敏嗣

◎日本リアリズム写真集団徳島支部写真展（9月10日～12日 徳島市シビックセンター）

出品者：木田 英之・藤井 梵

◎第7回「写光」写真展（9月14日～16日 ヨンデンプラザ徳島）

出品者：安部 幸子

◎第4回写好館クラブ写真展（9月24日～26日 ヨンデンプラザ徳島）

代表：藤井 梵

出品者：岸田 義市・藤井 梵

◎第44回写楽会写真展（9月23日～26日 徳島市シビックセンター）

会長：櫛淵 魏

出品者：櫛淵 魏・粟田ふさえ・上野 照文・川真田慶治・櫛淵 紳哉
中川 定典・古井 謙吉

◎自然の四季風景写真展（9月29日～10月4日 徳島市シビックセンター）

会長：大貝 久義

◎第8回鋭光会写真展（10月8日～11日 徳島市シビックセンター）

会長：林 治郎

出品者：西條 征二・林 治郎・三木 晴夫・井上 光雄・木田 英之
近藤 誠造

◎第4回二科会写真部徳島支部作品展（11月27日～29日 徳島市シビックセンター）

支部長：荒井 賢治

出品者：荒井 賢治・森住 博・大和 健司・赤木 昭子・安部 幸子
石川 徹雄・梅本 貞範・岡村 清・国見 良幸・西條 征二
佐々木敏幸・志摩 育美・島 廣幸・土橋 成行・西野 倫子
播 博文・坂東 進・板東 敏晴・板東 律雄・平野 史子
藤井 梵・藤川 光昭・増田 寿・宮崎 行弘・宮本 幸治
森内 昭男・柳川 信子

◎「荒井賢治と歩む写真の世界」80人の写真展（12月1日～5日 阿波銀プラザ）

出品者：荒井 賢治・赤木 昭子・石川 徹雄・梅本 貞範・大津 勝治
国見 良幸・佐々木敏幸・四宮 正恵・志摩 育美・武田 淳子
土橋 成行・西野 倫子・播 博文・板東 敏晴・板東 律雄
平野 史子・前坂 祥文・正見 晃章・増田 寿・宮本 幸治
向 儀一郎・森内 昭男・森住 博・柳川 信子・大和 健司
宮本 亮子

彫 刻 部

部 会 長 松 永 勉

年間展望

◎第59回県美術展（平成16年11月16日～23日）

今年の審査員には東京芸術大学教授で二紀会委員の米林雄一先生にお願いした。出品点数は25点、そのうち入選・入賞は15点であった。総数では前回より4点増えた。全体に大形作品の出品が多く、審査会場一杯に並べられた中を丁寧に見ていただいた。彫刻は体力のいる作業であり、輸送も大変であるのに、毎回力作が集まるのは有り難い。しかし、せっかくの力作も入選枠の関係で選外にならざるをえないものもあるが、次回作を期待したいと思う。

審査評として「具象から抽象まで幅広いタイプの彫刻が集まったが、その中で特に若者の実験的な試みが目についた。人体彫刻では技術的には、つたないながらも顔の表情に初々しさを感じる魅力的な作品が多く、高い技術を必要とする大作に恐れず大胆に取り組んでいて好感もてた。また、キャリアのある人は石やセメントなどの素材をマスターした完成度の高い作品が多かったが、さらに今までの技法を超える大作に挑戦してほしい。」と話された。

特選（県美術家協会会長賞）に選ばれた東光司さんの「刻まれた記憶」は、箱型の石彫作品である。この作品については「高度な技術と造形的な試みがよく出ている。四角の中に埋まっていた形を引き出したようで三角形を有機的に見せることに成功している。石をあえて磨き残してシャープな印象を与えており、石の特性をうまく生かしている。ただし、作品にはまだ余裕があり限界まで重心を崩せばよりエキサイティングなものになるだろう。」との評価をいただいた。東さんは、長年の間連続して県展に出品しているベテランの石彫作家である。最近独自の表現方法で自分の世界を生み出している。日ごろの努力が実を結び今回の受賞となった。さらに飛躍を願っている。

準特選の高丸公相さんの作品「はじまりの塔」は白っぽい色をした樹脂で作った作品で「手の形を表しているが具象を超えた象徴的な何かを感じさせる。この作品のように彫刻には驚きと同時に思いがけない意味が見えてくるのが大切だ。」との評を言われた。高丸さんは樹脂を使い個展を中心に発表している作家だが、これを機に県展で活躍してほしいと思う。もう1点の準特選の上月佳代さんの「樹」については「人体の形を借りていながらも彫刻の存在そのものにつながっていくような何かを感じる。台座を含

めて完成度の高い作品だ。」と評された。上月さんは今回灰色のコンクリートを扱っての出品で今まで以上に存在感のある仕事であった。その他奨励賞として松井結布さんの「思う」と加藤美津子さんの「若草」が選ばれた。全体評として「発想の面白さは目立っていたが、頭の中のアイデアを形にし、より効果的に見せるための技術的な研究も心掛けてほしい。」と話された。

◎第13回放美展（平成16年4月28日～5月2日）

今年の出品は総数で17点だった。昨年と比べてやや少なかった。そのうち具象的作品が15点、抽象作品は2点であった。

放美賞の武田亜希子さんの「S pace-guideboard」は「鉄の面材を構成した作品で構成がすぐれ、空間的広がりのある仕上がりになっている。立体として充実感がある。」との評で最高賞に選ばれた。最近積極的に鉄材の面を利用して空間構成に取り組んでいる結果の受賞であった。優秀賞には川下知子さんの「抱」が選ばれた。この作品に対しては「人体を包んだ布の表現処理がうまくできており、全体によくまとまりのある作品」との評であった。その他の作品の中では木を構成した二宮治夫さんの「支援」が力作だった。もう少し野性味が加わればもっと良くなるのではとの意見があった。清水久美子さんの「芽吹」はポーズがよくできている秀作であった。丸岡明子さんの「アタマのナカ」も観念的傾向ではあるが空間構成はよかった。頭像作品の中では特に榎崎聖子さんの「遠くを眺めながら」が量感の表現に秀れた作品であった。全体的印象として制作に対して目標や意図を明確に持ち、主張したいことをはっきりと表現してほしいとの感想であった。今回の審査員は天津文昭、松永勉、鎌田邦宏が務めた。

会員消息 （県展・放美展関係は除くは除く）

居上 真人	9月～12月	第42回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島市中央公園
	12月	一番札所霊山寺に作品設置	霊山寺
	12月	T・TAT地域連携軸形成シンポジウム「環境と彫刻」参加	徳島市
井下 俊作	9月	第59回行動展：会員出品	東京都立美術館
	9月～12月	第42回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島市中央公園
	10月	第59回行動展大阪巡回展：会員出品	大阪市立美術館
	11月	T・TAT地域連携軸形成シンポジウム「環境と彫刻」参加	徳島市
天津 文昭	9月～12月	第42回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島市中央公園
	10月	第58回二紀展	東京都立美術館
	11月	T・TAT地域連携軸形成シンポジウム「環境と彫刻」参加	徳島市

河崎 良行	1月	徳島二紀新春展	阿波銀プラザ
	3月	日本・ルーマニア文化交流2004年展	東京芸術劇場ギャラリー
	4月	第7回春季二紀展	東京銀座画廊美術館
	8月	第19回徳島二紀展	県立近代美術館ギャラリー
	10月～11月	彫刻個展	鳴門ガレの森美術館
	10月	第58回二紀展	東京都立美術館
	11月	2004年度地域文化功労者表彰	文化庁
鎌田 邦宏	4月	第7回春季二紀展	東京銀座画廊美術館
	8月	第19回徳島二紀展	県立近代美術館ギャラリー
	10月	第58回二紀展	東京都立美術館
上月 佳代	8月	第19回徳島二紀展	県立近代美術館ギャラリー
	10月	第58回二紀展	東京都立美術館
佐藤 隆	9月～12月	第42回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島市中央公園
	11月	T・TAT地域連携軸形成シンポジウム「環境と彫刻」参加	徳島市
松永 勉	1月	第32回徳島市芸術祭美術展：招待出品	県郷土文化会館
	2月	函館駅周辺整備モニュメント1次通過	函館市
	6月	第5回桜の森彫刻コンクール（優秀賞）	秋田県井川町
	9月	第59回行動展：会員出品	東京都立美術館
	9月～12月	第42回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島市中央公園
	10月	第4回貞光文化祭現代彫刻展：招待出品	貞光町道の駅ゆうゆう館
	10月	第59回行動展大阪巡回展：会員出品	大阪市立美術館
	10月	徳島工業高校創立100周年記念モニュメント設置	徳島工業高校
東 光司	11月	T・TAT地域連携軸形成シンポジウム「環境と彫刻」参加	徳島市
	1月	第7回モダンアート徳島支部展	阿波銀プラザ
	2月	第32回徳島市芸術祭美術展彫刻部門：徳島市長賞	県郷土文化会館
	5月	第14回ストーンミュージアム石の彫刻展	香川県庵治町
	12月	東光司石の彫刻マケット展	温泉の里：神山道の駅
長岡 強	3月	第80回白日展：会員出品	東京都美術館
	4月	第34回日彫展：会員出品	東京都美術館
	11月	第36回日展：無鑑査出品	東京都美術館
林 一美	4月	彫刻展	四電ギャラリー

美術工芸部

部会長 山上 馨

年間展望

◎59回県美術展（平成16年11月16日～23日 県郷土文化会館）

平成16年（2004年）県美術展美術工芸部門の応募点数は209点、出品者は149人であった。審査会場は、前回展に比べて応募点数で34点増、出品者数で28人増ということで盛況であった。審査は厳正に各ジャンルからの賞候補23点より入賞8点（特選2点、準特選3点、奨励賞3点）が選ばれ、入選117点と無審査出品11点を加えて総展示作品は136点となった。

今回の審査員は東京芸大教授・東京芸大美術館館長の竹内順一先生にお願いした。審査評としては「四年ぶり二回目の審査だったが、自由で生き生きとした作品がそろい、レベルが高くなっている。美術工芸は材料や技法が多分野にわたるが、一般的には陶芸や染色が多い。だが、今回は木・レザー・押し花・パッチワークなどほとんどの分野の作品があり、工芸の面白さが感じられた。出品作の増加はカルチャー講座が盛んな表れだろう。大きく迫力のある作品が多いのは、生きがいを工芸に託そうという生活態度の反映であり好感がもてた。審査は、しっかりした技法で自分を表現している作品を選び、デザイン力もポイントにした。県知事賞の丸居哲雄「アザのある人々」（寄せ張り）は、民族的で、しかもたくましい動きをする阿波踊りが、いい構図に収まっている。違う色の小さな木片を組み合わせた技法は四国の伝統的なものだが、それを平面で使っているのが面白い。筆で描くのと違う不自由さを逆に生かし、力強い作品に仕上げている。ものすごく手間がかかる手法だが、そんな困難を乗り越え、表現する意欲が伝わってきた。特選の斎藤和彦「2004～山の詩～2」（金工）は彫金と、金属をたたく鍛金の技法に七宝を組み合わせて、一つの絵を描いている。金属が数層に重なっているが違和感なく収まっている。全体的にモダンで、詩的な情景が浮かび上がり奥深い。ただ、誰でも描ける風景などの通俗的な作品も目についた。もっと身近なものや心の中の風景などを取り上げるべきだ。テーマで妥協せず自分を表現するにはどうすればいいのか、じっくり検討してほしい。」と制作への取り組み方について貴重な示唆に富んだご意見をいただいた。今回は出品点数、出品者の大幅な増加と、ジャンルの広がりが目立った。この傾向は58回展から見られたことだが、徳島県の美術工芸の発展にとって誠に喜ばしいことで、多くの方がいろいろな素材に、個性豊かにかかわり技を競い合うことができれば

すばらしいことだと思う。

特選 (徳島県知事賞)	丸居 哲雄 (空 芸) 「アザのある人々」
特選	斎藤 和彦 (金 工) 「2004～山の詩～2」
準特選	岡部 育子 (皮) 「華Ⅱ」
〃	龍木 秀子 (パッチワーク) 「朝の水辺」
〃	吉田 敏明 (陶 芸) 「調べ」
奨励賞	富田ちえ子 (染・着物) 「ジェノバの石だたみ」
〃	美浪 文 (染 色) 「階段とかご」
〃	吉田 祐子 (ガラス) 「玻璃・夕映」

◎第13回放美展 (平成16年4月28日～5月2日 県郷土文化会館)

美術工芸部門は出品点数184点、出品者123人であった。前回展に比べて出品点数で56点増、出品者数で36人増と激増、審査会場は盛況を呈した。応募作品の約半数が陶芸で、押し花・パッチワーク・木工芸・染・ガラスが目立った。審査はジャンルを越えて創造性、芸術性の高いものを厳正に選ぶ結果となった。放美賞1点、優秀賞7点、入選120点、無審査(審査員・運営委員・無鑑査)出品9点で、総展示数は137点となった。

放美賞の田村栄一郎「青の動(あおのうごき)」(陶)はユニークでおおらかなフォルムと鮮やかな青緑の色調を見事に調和させた芸術性の高い秀作であった。優秀賞の大川雅代「春の渦」(パッチワーク)は黄から青へのグラデーションによる大胆な構成は安定感、清涼感がある美しい作品であった。柿田コイト「静心」(陶)は、黒釉の幾何学的な緑文と形体の調和で主題を見事に表現していた。田村佳代「記憶」(陶)は、黒釉に茶の紋様を配し、風格、力量感あふれる秀作であった。玉木隆子「唐草編花籠」(蔓)は、ひねりを加え大きさを感じさせる個性的な編み方でリズム感、材質感を生かした温か味のある作品に仕上がっていた。美浪文「早朝」(染)は、紫を基調にした柔らかい色調、大胆な構成で幻想的な雰囲気表現、染独特の効果を生かして主題に迫っていた。尾谷順子「森のうつろい」(パッチワーク)は、セピア色のグラデーションと流動的な構成がよく調和した造形性の優れた作品であった。大西道夫「船港もよう～木彫つづり」(木彫)は、大胆な抽象構成、刃物のタッチを生かした重厚な作品で迫力を感じた。(審査員：高橋敬、松下雄介、橘恵)

今回はいろいろなジャンルで創作活動をされている方の参加が目立った。特に作品を通してそれぞれの素材に積極的にかかわり、造形の可能性を追求されている姿勢が伺えたことは誠に心強い限りであった。今後の県美術工芸の発展が大いに期待できそうである。

放美賞	田村栄一郎 (陶) 「青の動(あおのうごき)」
優秀賞	大川 雅代 (パッチワーク) 「春の渦」

- 優秀賞 柿田コイト (陶) 「静心」
 ♪ 田村 佳代 (陶) 「記憶」
 ♪ 玉木 隆子 (蔓) 「唐草編花籠」
 ♪ 美浪 文 (染) 「早朝」
 ♪ 尾谷 順子 (パッチワーク) 「森のうつろい」
 ♪ 大西 道夫 (木彫) 「船港もよう～木彫つづり～」

会員消息

(県展・放美展関係は除く)

- | | | | |
|--------|----------------------------|-----|-----------------|
| 天野 和子 | ・世界キルトカーニバル名古屋 | 3月 | 名古屋市中小企業会館 |
| | ・広島平和のキルト展 (新広島テレビ賞) | 9月 | 広島・福屋デパート |
| | ・県手工芸展 | 10月 | 県郷土文化会館 |
| | ・デザインドリーム展 | 10月 | 徳島市木工会館 |
| | ・「まなびピア愛媛」パッチワークキルト展 | 10月 | 愛媛・県民文化会館 |
| | ・インターナショナルキルトフェスティバル | 11月 | ヒューストン |
| | ・第2回徳島版画展 (グレイス賞) | 11月 | 阿波銀プラザ |
| 越 由子 | ・U.S.A.ワールドキルトコンテスト (リボン賞) | 8月 | ミシガン州グランドラピッツ市他 |
| | ・第6回K.G.S.東吉野教室キルト展 | 10月 | 阿波銀プラザ |
| | ・ふう布パッチワークキルト展 | 11月 | 徳島市シビックセンター |
| 多智花佐代子 | ・第12回現代工芸「ゆめいろ展」 | 1月 | 高松・三越 |
| | ・第43回日本現代工芸美術展 | 3月 | 東京都立美術館 |
| | ・第36回日展 | 11月 | 東京都立美術館 |
| | ・第43回現代工芸四国会展 | 12月 | 高松・三越 |
| 九十九健二 | ・第75回第一美術展 (青山熊治賞) | 5月 | 東京都立美術館 |
| 富田ちえ子 | ・染色すなご会31年を迎えて染色作品展 | 11月 | 牟礼町石の民族資料館 |
| 永山昭一郎 | ・第28回徳島陶芸会創作陶芸展 | 6月 | 徳島市シビックセンター |
| | ・第10回正倫会陶芸展 | 9月 | ヨンデンプラザ徳島 |
| 新居 猛 | ・徳島市芸術祭第32回美術展審査 | 1月 | 県郷土文化会館 |
| | ・「ニーチェアメッシュ NEW X」掲載 | 3月 | meno誌 (紀伊国屋) |
| | ・新製品中国制作交渉 | 3月 | 大連 |
| | ・残そう「ニーチェア」おはようとくしま | 3月 | 四国放送 |
| | ・新製品 HANDS STYL vol.01 | 4月 | 榊東急ハンズ(紀伊国屋) |
| | ・16年度徳島県貿易協会海外市場調査団 | 11月 | 香港・広東・深川・上海 |
| | ・美しい椅子4 | 11月 | 木世文庫(紀伊国屋) |

野村 裕子	・第4回KQS法華教室作品展	5月	県立近代美術館
	・ふう布パッチワークキルト展	11月	徳島市シビックセンター
森 賢一	・第43回日本現代工芸美術展	3月	東京都立美術館
	・第42回現代工芸美術家協会四国会展	12月	高松・三越
山本 和子	・第12回ゆめいろ展	1月	高松・三越
	・第43回日本現代工芸美術展	3月	東京都立美術館
	・第15回徳島現代クラフト展	4月	県郷土文化会館
	・第43回現代工芸四国会展	12月	高松・三越
四十宮年代	・第32回徳島市芸術祭美術展	1月	県郷土文化会館
	・第39回中部染色展(会員賞)	7月	愛知県美術館
	・第19回国民文化祭ふくおか2004(直方市議会議長賞)	10月	福岡・直方市谷尾美術館
綾野 昌子	・第14回工芸美術日工会展	5月	大阪・なんば高島屋
	・第36回日展	11月	東京都立美術館
田村 純子	・第26回日本新工芸展	5月	東京・上野の森美術館
	・大谷焼元山窯飯茶碗展	6月	ギャラリーM&M
	・日本新工芸四国会展	8月	高松・三越
	・日本新工芸四国会逸品展	11月	高松・モリシゲ
	・第36回日展	11月	東京都立美術館
田村 祐子	・第17回日工会工芸美術四国会展	5月	高松・三越
	・第14回工芸美術日工会展	5月	大阪・なんば高島屋
	・大谷焼元山窯飯茶碗展	6月	ギャラリーM&M
	・第94回徳島県女流美術家協会展	9月	県郷土文化会館
矢野 款一	・阿波踊り百態	8月	徳島・そごう
	・陶と華	9月	徳島市シビックセンター
	・日本工芸会四国支部展	11月	高松・三越
影谷美代子	・徳島平和美術展	7月	県郷土文化会館
	・小松島市芸術祭染色展	11月	小松島中央会館
斎藤 和彦	・日本七宝作家協会展	7月	東京・上野の森美術館
家形笑美子	・徳島県かずら工芸展	5月	ユンデンエネルギープラザ阿南
小栗加代子	・第43回現代工芸美術展(現代工芸賞)	3月	東京都立美術館
	・第36回日展	11月	東京都立美術館
橘 恵	・第4回橘恵藍染作品展	6月	徳島工芸村イベントホール
松下 雄介	・美術紀行「エジプト・フランス」	1月	

	・ 第3回 ^く 栴 ^{うかい} ・卯会展	8月	東京・日本橋三越本店
	・ 中国河南省（沙窯・鈞窯等）視察	9月	
	・ 松下雄介・敏之二人展	11月	徳島・そごう
丸居 哲雄	・ エナジー2004	10月	県立近代美術館
	・ 上板町美術愛好会作品展	11月	上板町・技の館
	・ 上板町文化祭	11月	上板町・技の館
吉田 敏明	・ 古希個展	3月	県郷土文化会館
川眞田 弘	・ 花揺・楽しみあれこれ作品展	10月	高松・展示工房やまもと
藤井 哲信	・ 第1回かわさき現代ガラス作品展	2月	川崎市産業振興会館
	・ 第22回朝日現代クラフト展	5月	大阪・阪急百貨店うめだ本店
	・ 藤井哲信吹きガラス展	5月	大阪・ギャラリーエノモト(他)
	・ ピアマガランカイ5	6月	札幌芸術の森工芸館
	・ 藤井哲信ガラス作品展	8月	高知・ほのまるギャラリー
	・ 国際ガラス展・金沢2004	8月	金沢・香林坊大和
	・ 第45回日本クラフト展	12月	東京・丸ビル
田村栄一郎	・ 第26回日本新工芸展（日本新工芸奨励賞）	5月	東京・上野の森美術館
	・ 大谷焼・元山窯飯茶碗展	6月	ギャラリーM&M
	・ 日本新工芸四国会展	8月	高松・三越
	・ 日本新工芸四国会逸品展	11月	高松・モリシゲ
	・ 第36回日展	11月	東京都立美術館
青木 房江	・ 牟岐布絵グループ展	7月	よんでんエネルギープラザ阿南
	・ 鬼ヶ岩屋温泉グループ展	1月~3月	牟岐町鬼ヶ岩屋温泉
	・ 牟岐町文化祭	11月	牟岐・海の文化センター

書 道 部

部 会 長 上 田 溪 水

年間展望

◎第59回県美術展（第1期 11月6日～14日 県郷土文化会館）

出品総数は876点、前回展より58点増となったが、出品者数は531名で41名減少した。これは1点出品者が144減、2点出品者が106点増となったからである。今回の審査員は、岩井韻亭、光宗道子、大井錦亭の三先生で審査の結果、入賞・入選数は366点（入選率42%弱）23点増加した。各審査員の評を要約すると、徳島は中央展で活躍している書家が多いせいとか全体的にレベルが高く、時代の色に左右されないでよい方向に歩んでいる。さらに古典の感覚をしっかりと身につけ自分のリズムで書くことが大切である。との指摘があった。

展示総数は特別出品・招待・無鑑査・賛助出品の46点を加えて、412点が全期間展示された。

◎第13回放美展（4月28日～5月2日 県郷土文化会館）

出品総数は166点（前回は1点増）、出品者数は153名（前回は5名減）となり、入賞・入選数は110で前回と同数である。展示数は、役員・無鑑査を加えて121点であった。近年やや低調気味と感じられていたが、幾分活気が表われたようで、よろこばしい。

◎社中展・個展等

○第9回六書展	徳島市シビックセンター	1月5日～	8日
○第38回清潮書道会展	県郷土文化会館	2月6日～	8日
○第24回書研社展	徳島市シビックセンター	2月21日～	23日
○宇山泰鳳書作展	徳島市シビックセンター	3月12日～	14日
○第12回三美書展	ヨンデンプラザ池田	3月27日～	28日
○第3回紅紫会展	県郷土文化会館	4月8日～	11日
○第4回玲光会書展	阿南文化会館	4月29日～	5月1日
○第11回大耽会書作展	県郷土文化会館	5月7日～	9日
○第19回県書道展	県郷土文化会館	5月31日～	6月6日
○第22回双愛会書作展	徳島市シビックセンター	6月11日～	13日
○第19回正鋒会書展	徳島市シビックセンター	7月10日～	12日
○第17回長玄書道展	県郷土文化会館	7月23日～	25日

○ 第 3 回一心会展	ヨンデンプラザ徳島	8 月 7 日～	8 日
○ 第34回直心会書展	県郷土文化会館	9 月 3 日～	5 日
○ 第67回書芸院展	県郷土文化会館	9 月 9 日～	12 日
○ 第27回泉心会書作展	阿波銀プラザ	9 月17日～	20 日
○ 第33回雪心会書作展	県郷土文化会館	9 月18日～	20 日
○ 第16回睦月会書展	徳島市シビックセンター	10月30日～11月 1 日	
○ 第 1 回五果会書展	県文学書道館	11月12日～	14 日
○ 第 1 回木の実書作展	県近代美術館	11月13日～	14 日
○ 喜寿記念春藤大耿書作展	県文学書道館	11月19日～	21 日
○ 第39回清潮書道会展	阿南文化会館	11月19日～	21 日
○ 第10回六書展	県郷土文化会館	11月26日～	28 日
○ 第34回光輪社書作展	県文学書道館	11月26日～	28 日
○ 第 8 回せせらぎ書展	徳島市シビックセンター	12月18日～	20 日
○ 第 9 回尚真書展	阿波銀プラザ	12月23日～	26 日

個人消息

(県展・放美展・社中展は除く)

役員で出品した人・入賞者

- 第45回太玄会書展 (東京都美術館 1 / 11～17)

役 員 春藤大耿・大櫛一峰・岡島順子・笠井宣江・岸田いち子・古郷弘江
 近藤静苑・下村清子・鈴木恵理・瀬藤豊子・富久鳴泉・中尾勝子
 中西甫子・西宇明美・西谷香峰・広島章子・吉田美重子・亀石文苑
 辻 尚子

入 賞 阿部寿子・馬居汀香・木村弘子・春藤玉秀・春藤真紀・妹尾敏子
 中西甫子・中西瑤汀・橋本京子・弘田長風・米本由美子

- 〈毎日書道展50回記念〉毎日現代書巡回展 (高松市美術館 1 / 28～2 / 1)

役 員 荒井天鶴・荒井彭仙・岩本志豪・大島溪石・大西清葩・幸田清尚
 佐原和清・芝原醒鶴・高岡晃祥・玉城乾香・永松春苑・吉田和婉

- 第58回日本書芸院 2 月展 (大阪市美術館 2 / 10～15)

4 月展 (大阪市美術館 4 / 6～11)

役員展 (大阪国際会議場 4 / 27～5 / 2)

常 務 理 事 勝瀬景流

評 議 員 東 南光・伊丹東龍

一科審査員 東 弥生・上田溪水・河野真流・薄田玲泉・隅田英二・高田青蓮

山口華城・吉田素川

二科審査員 阿部珠雪・青木東原・宇山泰鳳・上田輝芳・海原暁風・川村春琴
小西玉翠・小松美佳・近藤聖邨・清水桂月・島田小園・豊浦春光
長江頌石・能仁華瑤・長谷美峰・鳩成青嶂・福永美泉・福家美鵬
藤村柳葉・古川秀蕙・松永翠月・美馬幾美賀・宮守崇流・向井京子
森 光翔・八木藍玉・矢部知子・米澤東籬

大 賞 阿部珠雪・河野真流・長江頌石・米澤東籬

特 別 賞 沖田唐谷・谷 弘美

特 選 井内晃流・笠原恭子・藤井三樹子・藤川古徑

一科推薦 小薮園美

二科推薦 田岡有紀

○東京書作展選抜作家展（サンシャインシティー文化会館 2／20～26）

出 品 春藤大耿・中尾勝子・須藤理恵・瀬藤豊子・富永竹香・山本恵子

○第40回創玄展（東京都美術館 産業プラザPIO 3／7～12）

役 員 荒井天鶴・荒井彭仙・永松春苑・佐原和清・高岡晃祥・岩本志豪
大島溪石・浜 佳香・多田清芳・芝原醒鶴・長原皋聖・玉城乾香
大西清葩・佐藤宗香・丸岡香貞

入 賞 高瀬大峯・吉田和婉・山崎朱桜・野田香洋・木田史香・平岡幽琴
長原皋月・福山皋伶・武田玲香・大西英仙・玉城乾豪・庄野乾翔
宮本光和

○第23回日本刻字展（東京都美術館 3／7～12）

役 員 横田素林

入 選 田中昭峰・岡部杜石・谷本瑞硯・田渕南亭・伊達潮虹

○第32回日本の書展（大阪国際会議場 3／26～29）

招 待 伊丹東龍・勝瀬景流・春藤大耿・薄田玲泉

秀拔選 東 南光・荒井彭仙・上田溪水・河野真流・川村春琴・清水桂月
武市鳴雲・多田清芳・玉城乾香・長江頌石・長原皋聖・能仁華瑤
浜 佳香・古川秀蕙・松本深翠・宮守崇流・吉田素川

○日本書道学院展（東京都産業貿易センター 3／27～29）

大 賞 井上虹雨

準大賞 佐川菁流・山本景琴

○第27回日本かな書展（東京・日本橋高島屋 5／12～17）

出 品 藤若美風・松本清香・三浦富美代・藤原育代・増田愛子・尾田艶子

- 第40回太玄会役員展（新宿センタービル朝日生命ビル 5／27～6／1）
 - 出 品 春藤大耿・鈴木恵理・富久鳴泉・広島章子・中西甫子・近藤静苑
中尾勝子・大橋一峰・岡島順子・笠井宣江・岸田いち子・古郷弘江
瀬藤豊子・西谷香峰・西宇明美・吉田美重子・下村清子
- 第31回短歌と書の世界展（東京セントラル美術館 6／1～6）
 - 出 品 荒井彭仙・多田清芳
- 第56回毎日書道展 東京展（東京都美術館 7／8～17）
 - 四国展（愛媛県立美術館 8／10～15）
 - 役 員 荒井天鶴・荒井彭仙・永松春苑・佐原和清・長原皋聖・芝原醒鶴
玉城乾香・浜 佳香・多田清芳・佐藤宗香
 - 入 賞 幸田清尚・丸岡恵風・武田玲香・野田皐玖
- 日中女流書家代表書展 東京展（東京銀座画廊 7／13～18）
 - 北京展（北京・中国美術館 10／5～12）
 - 出 品 荒井彭仙
- 第21回産経国際書展（池袋サンシャインシティ文化会館 7／26～8／3）
 - 役 員 藤若美風・松本清香・増田愛子・三浦富美代
- 第21回読売書法展 東京展（東京都美術館 8／13～19）
 - 四国展（高松市美術館 10／21～24）
 - 常任理事 勝瀬景流
 - 理 事 東 南光・伊丹東龍・薄田玲泉・張 美鶴
 - 幹 事 東 弥生・上田溪水・上田輝芳・宇山泰鳳・河野真流・亀石文苑
倉本景雨・近藤聖邨・清水桂月・春藤大耿・隅田英二・高田青蓮
竹内虹舟・長江頌石・新居藍州・能仁華瑤・長谷美峰・坂東準子
福永美泉・福家美鷗・古川秀蕙・宮守崇流・山口華城・吉田素川
 - 評 議 員 井上虹雨・辻 尚子・豊浦春光・森 光翔・山本景琴
 - 俊 英 賞 東 弥生・河野真流・清水桂月
 - 奨 励 賞 佐川菁流・豊浦春光
 - 特 選 皆谷芳穂・背川景玲・松永翠月
 - 秀 逸 井上晃流・遠藤玉流・鈴木恵理・隅田英二・武田知流・林 美雪
宮崎聖風・柘木香雲
- 金子鷗亭と現代の書・北京展（北京・中国美術館 8／20～24）
 - 出 品 佐原和清・玉城乾香
- 第30回創玄現代書展（東京セントラル美術館 11／2～7）

役 員 長原皐聖

入 賞 大西清葩・永松春苑

○第36回日展（東京都美術館 11／2～24）

依 嘱 勝瀬景流

入 選 東 弥生・伊丹東龍・上田輝芳・倉本景雨

○第26回東京書作展（サンシャインシティ文化会館 11／30～12／5）

役 員 春藤大耿・小出圭子・須原理恵・冨永竹香・中尾勝子・吉本道子

入 賞 稲垣幸風・木村弘子・春藤真紀・西谷幸峰・吉田美重子

○第44回璞社展（大阪市美術館 11／30～12／5）

役 員 東 南光・以西恆心・上田溪水・馬居汀香・海原暁風・小西玉翠
清水桂月・椎野春翠・春藤玉秀・春藤大耿・鈴木恵理・田上洋香
武市鳴雲・谷口清水・豊浦春光・長江頌石・能仁華瑤・花本清香
弘田長風・藤田喜美・松浦翠篁・松本深翠・八木藍玉・吉田素川

特別賞 野田有香・林 美雪

優秀賞 片山芳明・大本華越

読売賞 河野多美

会長賞 加藤知子

特 選 宇山春蘭・谷 典子・折上和美・高原智世・谷本真由美・森本真由美

佳 作 久保光瑤・春藤真紀

デザイン部

部会長 坂本 三千一

年間展望

平成17年の今年は県展60周年、自分の年齢と重ねてみると、ひと桁の自分がいた。「デザイン」が「商業美術部門」として加わって35年になる。我武者羅にやってきた感があります。

ずっしりと重い伝統を感じている。県展の還暦にあたる年に「こども県展」も併設され益々の発展が期待される。平成16年（2004）の一年を開催月順に羅列した。

◎第13回放美展（4月28日(水)～4月2日(日)）

デザイン部会の出品者は女子学生と女性が大半を占める傾向が続いている。

応募点数117点・前年74（+43）、応募人数92人・前年65（+27）

12回展より43点、27人の増。放美賞1、優秀賞5、入選38点の44点（入賞率38%）を選んだ。

放美賞の福岡由美さんの「彩り」イラストの巧さ色彩の美しさなどを評価。優秀賞の後藤郁美さんは軽やかなタッチの良さ、三木由佳里さんはポスターとしての完成度、生川佳代さん、有持綾子さん、桐山由実さんの作品はそれぞれのイラストの面白さを評価した。～審査員講評抜粋～

今回は、福井章理事と坂野美恵子、古本實の各委員が審査にあたった。会員では運営委員の坂本三千一と三人の審査員が出品。

◎平成16年度徳島県秀作巡回美術展（徳島県文化国際課）

10月20日～11月18日・日和佐、羽ノ浦、由岐の各町で開催。デザイン部会から、福井章、斎藤繁次、坂野美恵子、北島豊嗣が出品した。

◎第8回徳島県民文化祭協賛事業：デザイン部会展（11月1日～11月7日）

「デザイナーが描くイラストレーション展」会員15名、自由課題で各2点30点出品。企画／坂野美恵子・古本實／会場・徳島駅クレメントプラザ4階クレメント広場。

◎第59回徳島県美術展（第2期 11月16日(火)～23日（火・祝））

東京からグラフィックデザイナーの小島良平氏に審査をお願いした。小島氏は東京アートディレクターズクラブ会員で、東京ADC賞、毎日広告デザイン賞などを受賞。

審査の前に、小島審査員は、何かを伝えるためにデザインがある。何を伝えたいのか、

何が目標なのか、人になくアイデアをどう表現するか、美しさや技術も必要だと話した。

応募数125点（105人）賞含む入選 特選特別賞1点、特選1点、

準特選3点、奨励賞3点、入選39点。計47点（37.6%）

徳島県教育長賞（特別賞・特選）の敷島のり子「NOROKO SHIKISHIMA EXHIBITION 2004」は色使いの美しさと、抽象的な形態を人の顔のよに見せた造形力が素晴らしい。パソコンを使って写真撮影した油絵を取り込んでいる。手作りのよさが伝わってくる。特選の西條明彦「過去からのメッセージ—Peace—」には核廃絶というグローバルな視点と批判精神が感じられた。時計が壁を破っているところがフラットな面に立体感を与えており画面中央に作った空間の設定もうまい。

県展は徳島にいる人がクリアしなければならない目標であるはず。強い気持ちでチャレンジしてほしいと結んでいる。～審査員評抜粋～

準特選「はなひらく」斎藤志津子、「金魚のフン」小笠原瑞穂、「HAIKU」田中妙。

奨励賞「幻水花」中川理恵、「ホシノササヤキ」吉岡のぞみ、「DREAM」芦尾節子。

〈デザイン部会員の受賞者〉

特選特別賞・敷島のり子。準特選・斎藤志津子。

入選者「テロの連鎖」北島豊嗣、「Peace-FLOWER」「UP&DOWN～human dilemma」四十宮隆志、「What are the human being longing for?」敷島のり子、「しじま」斎藤志津子。の6名・9点が入選以上。

無審査の特別出品「NO! WAR」坂本三千一、招待出品「あなたがそばにいてほしい」斎藤繁次、「県展ポスター」坂野美恵子、賛助出品「イラストレーション伊島漁港」福井章。

会員消息

（放美展・県展関係は除く。順不同）

■福井 章

1月～2月 吉野川市「市章」選定会選定委員（麻植合併協議会）

・徳島新聞 '05新年号紙面企画（絵と小文）

「阿波の旅情」シリーズ44点制作

・徳島新聞 朝刊暦企画（絵と小文）

「阿波路 イラスト ぶらり旅」毎月1回連載中

・情報紙「いのち輝く」（イラスト）

「徳島が誇る伝統の技」連載中

12月 第33回歳末チャリティー作品・色紙即売展（徳島新聞社会文化事業団：徳島

そごう)

■沢口 功

- 1月 第32回徳島市芸術祭美術展：審査員出品（県郷土文化会館）
- 12月 第33回歳末チャリティー作品・色紙即売展（徳島新聞社会文化事業団：徳島そごう）

■吉本 實

- 10月 第16回徳島デザインドリーム展出品（徳島市立木工会館）
- 12月 第33回歳末チャリティー作品・色紙即売展（徳島新聞社会文化事業団：徳島そごう）

■田中 一郎

- 11月 「であい ふれあい 文化祭 in 美馬 2004」リーフレットをデザイン

■坂野美恵子

- 9月 第89回二科展デザイン部門：会員出品（東京都美術館）
- 11月 第59回県美術展ポスター等をデザイン
- 11月 徳島県美術家協会デザイン部会展（クレメントプラザ）

■四十宮隆志

- 8月 第10回国際アニメーションフェスティバル広島大会（広島アステールプラザ）、作家交流&webサイトリポート
- 10月 第15回徳島県デザインドリーム展出品（徳島市立木工会館）、グラフィックデザイン作品3点出品、ギャラリートーク（作品解説）参加
- 10月 第17回東京国際映画祭（東京六本木ヒルズ）、webサイトリポート
- 11月 徳島県美術家協会デザイン部会展（クレメントプラザ4F）、グラフィックデザイン作品2点出品
- 11月 第9回アニメーション神戸（The 9th ANIMATION KOBE）、（神戸ジーベックホール）webサイトリポート

■斎藤 繁次

- 2月 Dr エンドー イラスト個展
- 10月 平成16年度徳島県秀作巡回美術展出品（県内巡回）
- 11月 藍住町美術展（藍美展）出品

■斎藤志津子

- 11月 藍住町美術展（藍美展）出品

11月 2004 flowerイラスト展（鳴門イルローザ）

■坂本三千一

- 1月 吉野川市「市章」選定会選定委員（麻植合併協議会）、藍住町文化協会設立：副委員長就任
- 6月 「平和ポスター」選考委員（業者作品）（徳島県企画総務部）
- 9月 徳島県総合教育センター「シンボルマーク審査会」委員長（徳島県教育委員会）
- 10月 第1回「あいずみ文化祭」ポスター・チラシ制作（藍住町文化協会）
- 10月 「第28回全国育樹祭」参加（神山森林公園：徳島県林業振興課）
- 11月 美馬市「市章」選考委員（美馬東部北部合併協議会）
- 11月 第1回「あいずみ文化祭」平和ポスター2点出品（藍住コミュニティーセンター）
- 11月 「国際平和ポスターコンテスト」～小・中学生対象～、四国地区審査会委員長（ライオンズクラブ国際協力）

第59回徳島県美術展（県展）公募規定

区分	部門	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン
搬入日		10月17日	10月2日	10月17日	10月17日	10月17日	10月2日	10月17日
搬入先		徳島県郷土文化会館						
審査日		10月17日	10月3日	10月17日	10月17日	10月17日	10月3日	10月17日
審査員		竹内浩一	中山忠彦	大石芳野	米林雄一	竹内順一	岩井 韻亭 光宗 道錦 大井 亭	小島良平
出品料		協会員 1点目 3,000円		その他の方 4,000円		2点目からはすべて 1,500円		
出品制限・大きさ・仕上げ		<ul style="list-style-type: none"> ・未公開作品に限る ・点数は制限なし ・小・中学校在学者は出品できない ・72.7cm×50.0cm(額縁を除いて)以上でタテ、ヨコ190cm(額縁を含む)以内(ガラス・アクリル不可) ・吊り紐 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 ・20号以上(水彩は20号以上、版画は10号以上とする) ・額 ・吊り紐 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 ・組・単写真とも画面サイズ、半切以上(カラーは印画に限る) ・無鑑査以上は画面サイズ半切以上、単写真に限る ・パネル張り(組写真は1パネル(90×180cm以内)に全作品をレイアウトしたもの又は全作品を固定したもの) 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 ・高さ2m×幅1.5m×奥行1.5m重量200kg以内 ・材料は自由、展示可能なものに限る 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 ・大きさ制限なし(ただし、平面作品はタテ1.8×ヨコ1.5m以内) ・木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等 ・展示できる用具をつける 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 半切又は全紙横$\frac{1}{2}$以上、仕上がり面積が1.47㎡(16平方尺)以内、縦・横自由 卷子本・帖(40×300cm以内)(例) 61cm(2尺)×242cm(8尺)裱張 79cm(2.6尺)×181cm(6尺)裱張 91cm(3尺)×161cm(5.3尺)裱張 121cm(4尺)×121cm(4尺)裱張 半切・全紙$\frac{1}{2}$・聯落まで額装 アクリル入りでもよい 無鑑査以上は半切以内 ・部門は漢字・仮名・近代詩文・前衛とする 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 ・B1パネル横728×縦1,030ミリ 厚さ5~75ミリ程度 重さ5kg以内 ・課題は自由(実在の商品名・会社名等は除く) ・法的規制に触れないこと ・吊り紐
入賞		特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 3点 準特選 5点 奨励賞 5点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 4点 準特選 8点 奨励賞 8点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 1点 準特選 2点 奨励賞 2点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 8点 準特選 13点 奨励賞 13点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 入選 規定数
(各部門とも特別賞は特選の内数)								
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・落選作品は審査終了後、各部門で決められた日時までに搬出すること。 ・展示作品は一期は11月14日(日)、二期は11月23日(火)の午後5時から午後6時までに搬出すること。 ・所定の期日までに搬出しない場合は主催者において処分する。 						

第 59 回 県 美 術 展

特別・招待・無鑑査・賛助出品者名

☆ 日 本 画

(特別出品)	長 尾 弘 子		
(招 待)	橋 本 正 弘	中 川 健	岡 英 彦
	土 方 るみ子	西 野 和 男	土 井 洋 子
(無 鑑 査)	柳 田 一 子		
(賛助出品)	長 谷 寿		

☆ 洋 画

(特別出品)	佐 野 比呂志	永 山 隆 二	梶 田 務
(招 待)	清 水 巫 煥	楠 瀬 等	露 口 敏 幸
	長 尾 弘 久		
(無 鑑 査)	新 居 千 尋		
(遺 作)	岡 本 征 二		
(賛助出品)	岡 多美子	柏 木 雅 雄	河 田 安 市
	黒 崎 志 郎	後藤田 仁 一	松 川 寛
	岡 田 守	中 辻 奈美枝	

☆ 写 真

(招 待)	増 田 清 次	井 上 光 雄	木 田 英 之
	西 條 征 二	勝 西 雅 夫	藤 井 潤 魏
	武 内 亨	笹 田 敏 雄	櫛 上 野 照 文
	酒 井 博 司	三 好 和 義	安 野 長 剛
	森 賢 一	橋 本 圭 祐	林 長 敏 彦
	前 浦 芳 久	荒 井 賢 治	中 野 建 吉
	多 田 晴 美	古 井 謙 吉	柳 本 正
	井 藤 光 章	増 田 壽 樹	
(無 鑑 査)	大 和 健 司	久 保 英 樹	

☆ 彫 刻

(特別出品)	河 崎 良 行		
(招 待)	佐 藤 隆 作	大 津 文 昭	濱 口 惠
	井 下 俊	鎌 田 邦 宏	松 永 勉
(賛助出品)	長 岡 強		

☆ 美術工芸

(特別出品)	山 上 馨			
(招待)	新 居 猛	高 橋 勇	七 條 猪三郎	
	多智花 佐代子	松 下 雄 介	松 下 慶 一	
	森 賢 一	橋 恵 存		
(賛助出品)	村 上 正 典	中 川 存		

☆ 書 道

(特別出品)	荒 井 天 鶴	新 居 藍 州	上 田 溪 水
(招待)	宮 井 青 雨	長 原 皋 聖	高 原 清 泉
	西 南 龍	成 尾 莊 秀	原 田 霄 月
	芝 原 醒 鶴	前 川 古 舟	清 水 桂 子
	美 馬 幾美賀	春 藤 大 耿	中 谷 史 虹
	長 谷 美 峰	勝 瀬 景 流	川 上 史 泉
	三 間 好 鶯	近 藤 静 苑	日 下 田 翠
	岡 島 順 子	荒 藤 井 彭 仙	竹 田 和 鳴
	山 口 華 城 子	藤 若 藤 美 風	武 市 久 泉
	中 尾 勝 苑	佐 藤 田 小 園	富 坂 本 本 風
	永 松 春 香	島 田 田 英 二	坂 松 本 清 香
	浜 田 清 芳	隅 玉 城 乾 香	薄 高 田 玲 泉
	多 仁 華 瑤	能 浦 富美代	
(無 鑑 査)	東 弥 生		
(賛助出品)	東 南 光		

☆ デザイン

(特別出品)	坂 本 三千一	
(招待)	斎 藤 繁 次	坂 野 美恵子
(賛助出品)	福 井 章	

あ と が き

2005年は徳島県美術展（県展）も60回という記念の年を迎えることとなります。終戦後はじめての県展も紆余曲折を経て今日のかたちになったと思いますが、それにしても多くの方々に支えられてきたことは事実であります。多くの県民の方々が出品され、鑑賞され、愛される県展として、これからも充実発展することが大切と念じております。

放美展も14回を迎えますが、この展覧会を始めた趣旨である“できる限り新しい人を発掘していく”ということ貫いて充実発展させたいと思います。

二つの大きな展覧会の会場となっている県郷土文化会館が平成17年12月から平成19年3月まで、耐震工事などのため休館となりますので、放美展の15回展は1年空けて平成19年に開催ということになります。県展については何とか開催する方法を検討し開催する予定となっています。

各部長からは各部の動向についてお書きいただきましたが、会員の方から掲載されたい事項がありましたら、どうぞ各部長のところへ情報としてお寄せください。

年報表紙は各部もちまわりで担当していただいておりますが、本年は写真部の平野俊次郎さんからご提供いただいた写真を使わせていただきました。

最後になりますが、会員の皆様にはご健康に留意されまして、ますます創作活動に励まれますよう祈念いたします。これからも美術家協会のために会員の皆様のお力ぞえをお願いいたします。

平成17年3月

県美術家協会事務局

美 術 年 報 2005年

平成17年3月29日 印刷

平成17年3月31日 発行

編集者 清 水 博

装幀者 平 賀 俊次郎

発行人 佐 野 比呂志

印刷所 原田印刷出版株式会社

発行所 徳島県美術家協会

(徳島市名東町1丁目246 清水方)
